

第2期（令和6年度～令和10年度）

「西伊敷住民総活躍で地域力を発揮！」

～ 50周年を迎えた西伊敷、つなごう次の100年！～

西伊敷まちづくりプラン

〔地域振興計画〕



西伊敷まちづくり協議会

所在地 〒890-0002 鹿児島市西伊敷4丁目12番1号

電話・FAX 099-813-7472

(E-mail) nishimachikyo@n05.synapse.ne.jp

目 次

1	はじめに 会長あいさつ	1
2	「コミュニティ協議会」とは?	2
3	各部会 5年間のふりかえり	
	◇ 総務広報部会	3
	◇ 安心安全部会	5
	◇ 福祉部会	7
	◇ 社会教育部会	9
	◇ 健康づくり部会	11
	◇ 青少年育成部会	13
4	第2期まちづくりプランと3つの柱	15
5	校区の概要	16
6	まちづくりの目標	19
7	推進組織と活動方針・主な活動	20
8	各部会の具体的な取組	21
9	資 料	
	○ アンケート結果	24
	○ プラン策定委員	37
	○ プラン策定経過	37
	○ 行事等実施計画（例）.	38
	○ 西伊敷校区 安心安全福祉マップ	42

1 はじめに

西伊敷まちづくり協議会は平成 29 年 4 月 23 日に設立総会を開催し、発足しました。その後、令和元年度に「西伊敷住民総活躍で地域力を発揮！ ～住民のマンパワーで住みよいまちづくり～」のスローガンのもと、5 年間の「まちづくりプラン（地域振興計画）」を策定し、活動を展開して参りました。まちづくりプランに基づく活動を始めてから今年で 5 年が経過しているところです。

これまでの 5 年間を振り返りますと、想定外の社会の変化と緩やかな地域の変貌がありました。新型コロナウイルス感染症の蔓延による行事等の中止・延期。毎年全国各地の台風被害や東日本・熊本・能登半島地震を受けての地域での災害対策の見直しと被災地への支援。また、造成されて半世紀を迎えた西伊敷ですが、高齢化が進む一方で、児童生徒数が増加傾向にある兆候が見受けられました。そのような変化にも柔軟に各種構成団体と連携を図りながら、総合力で対応を行ってきました。

さて、ここに「第 2 期まちづくり 5 か年プラン（地域振興計画）」を新たに策定することとなりました。作成するにあたり、住民の皆様へのアンケートで意見要望を吸い上げ、また、これまでの評価反省を踏まえた今後の 5 年間の活動計画となっています。

「西伊敷住民総活躍で地域力を発揮！ ～50 周年を迎えた西伊敷、つなごう次の 100 年！～」のスローガンのもと、活動の成果を上げて「住みたい街」「帰りたい街」「誇りを持てる街」を構築し、次の世代にバトンを渡せればと考えております。

皆様のご理解と、より一層のご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

西伊敷まちづくり協議会
会 長 加藤 俊文

「まちづくりプラン」とは？

「西伊敷まちづくりプラン」は、今後 5 年間の西伊敷校区をよりよくするための計画書です。これから、西伊敷まちづくり協議会が取り組む事業内容やねらいは何かなどが書いてあります。令和 4・5 年度から西伊敷まちづくり協議会の策定委員会で、「第 1 期まちづくりプラン」のふりかえりや住民の皆様へのアンケート、諸調査、鹿児島市調査統計資料等を基に作成しました。

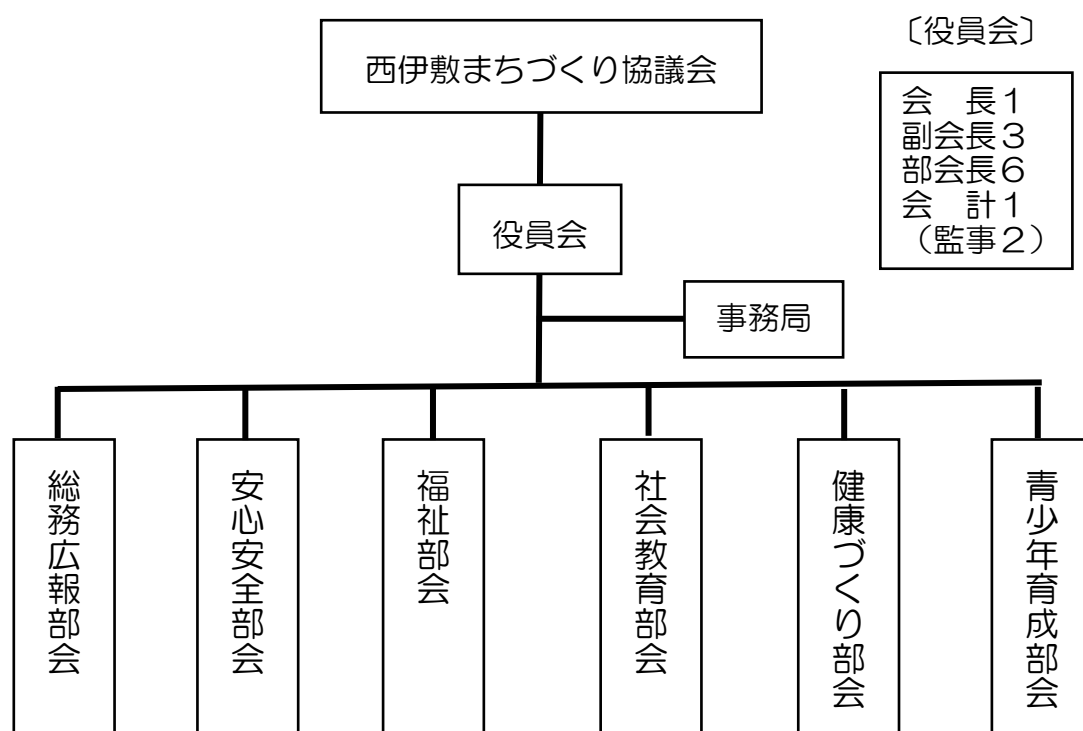
2 「まちづくり協議会」とは？

正式名称は、「西伊敷まちづくり協議会」です。平成29年4月23日に発足しましたが、7年が経過しようとしています。

西伊敷校区の住民や様々な組織、団体で構成されており、相互に協力して運営されています。

総会や役員会、各部会で情報収集・共有しながら、協議を重ね、共通理解をして決定し、各種事業(活動)を実践しています。

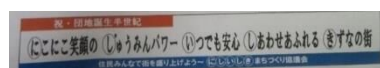
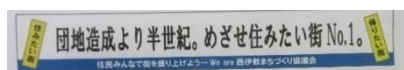
事務局は、西伊敷小学校内の西伊敷校区公民館にあります。



西伊敷まちづくり協議会定期総会



定期総会



まち協 役員会



校区文化祭

まち協の「横断幕」

3 各部会 5年間のふりかえり

◇ 総務広報部会

《 事業(活動)方針 》

- ・ 西伊敷まちづくり協議会の総合窓口をつとめるとともに、協議会全体の調整をしながら、情報発信・広報宣伝活動を実施します。
- ・ 西伊敷における人材の掘り起こしを進めます。

ア 事業(活動)実施評価表

番号	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)のねらい	実施評価(令和)					継続改善検討
				R1	R2	R3	R4	R5	
1	情報収集と情報発信の確立	「まち協だより」の企画、地域の情報収集	住民の絆ふれあい交流	B	B	B	B	B	継続主催
2	広報紙「たかのぼる」発行	企画・立案・収集作成・発行・配布	まちづくり協議会の広報、活動紹介地域の情報提供等	A	A	—	B	B	継続主催
3	各種行事の企画夏祭り支援	行事日程調整夏(秋)祭り準備等支援	住民の絆ふれあい交流	C	C	C	C	C	継続共催
4	町内会との連携	各部会に所属し、各行事への参加	町内会との連携・情報の共有等	B	C	C	C	B	継続

A：よくできた B：概ねできた C：ややできなかった D：できなかった
—：コロナのために中止 ×：未実施

イ 総務広報部会で実施した事業(活動)



広報紙「たかのぼる」作成・発行



広報広報部会



ウ 総務広報部会 現状と課題・改善点

現 状 ・ 課 題（改善点）
※「広報紙 たかのぼる発行」 ・ 現状や課題、改善策 ・ 通常、毎年1～2回発行している。（令和5年度は1回発行） 西伊敷校区の全ての世帯へ配布している。（約3,000世帯に配布） ・ 紙面の工夫～まち協の組織をわかりやすく、より身近に感じてもらえるようにし、役員の顔写真などを掲載して住民の方に関心を持ってもらえるように工夫をしている。 ・ 「まち協さんぽ」のコーナーでは、各町内会活動内容を紹介し、取り組みなどが20町内会にも参考になるように掲載している。また、町内会加入の促進となるきっかけになればよいと思っている。 ・ 日々伊敷団地住民が抱えている生活環境の課題の解決案、事例なども紹介する内容を周知する媒体として「たかのぼる」を活用してみてもどうか。そのためのさらなる紙面の工夫も図っていく必要がある。 ・ その他、世代間交流の場づくりの提案、魅力ある団地になるよう、将来へ引き継いでほしいことなどを、紙面を通じて発信していくように努めていく。 ・ また、課題として、認知度の向上、掲載内容の創意工夫、紙面の工夫（見やすさ・伝わりやすさ）も、さらに、進めていきたい。 ※ Facebook 設立・運営 ・ 現状、課題、改善策 ・ 更新されていない状態であるので、部会内にて更新担当者を明確にして、常時取り組めるようにする必要がある。 ・ 掲載内容の選定・工夫をする。部会で十分に検討する機会を持つ。 ・ 今後、Facebook 以外のSNSの活用を模索していく必要もある。 ※ その他 ・ アンケート結果では、まちづくり協議会の活動について、知っている方の割合が4割弱である。広報紙をはじめ、各部会の行事等のPRを積極的に行う必要がある。 ・ 地元住民が多いが、転入者も増えてきている。児童数が少しずつ増えてきている。 ・ 地域ぐるみのあいさつ・声かけ運動など人間関係は良好で絆も深いようであるが、少しずつ隣近所の人間関係が希薄になっている面も見られる。 ・ 住民同士の情報の共有が難しい。場づくりの工夫が必要である。 ・ 高齢化で、町内会活動が低迷している面があり、地域差もあるようである。 ・ 町内会加入率は低い方ではないが、町内会加入促進を図るにはどうすればよいか。 ・ 若い地域のリーダー（後継者）が必要である。次世代の人材育成が大事になる。 ・ ゴミ捨てのルールを守らない人もいる。地域ぐるみの取り組みが必要である。 ・ 地域活動や各種行事への参加者を増やしたい。町内会、まちづくり協議会、あいご会など様々な構成団体との連携・協力を図る必要がある。 ・ 空き家の活用方法はないか。まず、町内会、まちづくり協議会をはじめとして、情報収集や対応策を考える場づくりから入る必要がある。



◇ 安心安全部会

《 事業(活動)方針 》

- 西伊敷における各種自然災害への防災意識の普及や交通安全、犯罪未然防止、校区内安全点検（危険箇所点検）等を通し、相互に支え合う体制の充実に努めます。

ア 事業(活動)実施評価表

番号	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)のねらい	実施評価（令和）					継続改善検討
				R1	R2	R3	R4	R5	
1	校区内安全点検	校区内の危険箇所等の把握と改善	安心安全な暮らしの確保	A	A	A	A	A	継続主催
2	校区内暗がり点検	夜間の照明灯の確認	安心安全な暮らしの確保	A	A	A	A	—	継続主催
3	校区内青色防犯パトロール（青パト隊）の活動	巡回パトロール 毎週3回実施（主に月・水・金）	住民の連携	A	A	A	A	A	継続主催
4	町内会との連携	町内会を構成団体へ	住民の連携	B	B	A	A	A	継続
5	朝の登校見守り声かけ等	児童通学保護員 通学ボランティアによる見守り・声かけ等	児童・生徒の安心安全支援	A	A	A	A	A	継続主催
6	非常炊き出しと救急法講習会（防災講習会）	炊飯活動 救急法の実演	方災害時の対応の仕の理解や活動	A	A	A	B	A	継続共催

A：よくできた B：概ねできた C：ややできなかった D：できなかった
 —：コロナのために中止 ×：未実施

イ 安心安全部会で実施した事業(活動)



安心安全部会



安全点検と設置作業



青パト講習会と出発式



看板設置



ウ 安心安全部会 成果と現状・課題

成 果	
〈児童・生徒の関わる事業(活動)〉 〈校区住民・高齢者に関わる事業(活動)〉 ・ 校区内安全点検は毎年実施できている。 ・ 校区内暗がり点検は毎年実施できている。 ・ 非常炊き出し訓練は、福祉部会および校区社会福祉協議会との共催で実施している。	
現 状 ・ 課 題	
〈児童・生徒の関わる事業(活動)〉 〈校区住民・高齢者に関わる事業(活動)〉 ・ 校区内安全点検で指摘された危険箇所について、危険を告知する赤旗の新規取り付けは実施できているものの、看板の新規取り付けや移設作業がやや不十分である。部会として問題点を列挙するだけでなく、今後、積極的に関わっていく必要がある。5 年度末に看板等は、大部分の取り付けを終了した。 ・ 校区内暗がり点検については、毎年実施していたが、校区内の街灯が町内会単位で次第にＬＥＤに更新されていったこともあり、毎年チェックする必要性が失われている。そのため、令和5年度からは2年に1回程度に変更し、実施しない年には別の事業（交通安全運動・働きかけ等）を実施していく。 ・ 校区内防犯パトロール（青パト隊）については年間を通して、2台の車で、1週間に3回程度、二人体制で、伊敷団地内を巡回している。隊員の高齢化が進んでおり、今後の継続が危ぶまれる。新規メンバーの募集が必要である。 ・ 朝の登校見守りと声かけ等については、毎朝、児童通学保護員と通学ボランティア、また、曜日により、ＰＴＡで立哨がなされて、実施できている。それにより、子どもたちの安全が保たれている面はある。 新規の通学ボランティアを募集すべく対応がなされているが、厳しい状況ではある。 学校・保護者・地域で、早急に更なる対策は必要ではある。 児童通学保護員の配置見直しをしたり、県警・市役所との連携のもと、ハンプの設置などの働きかけをしたりして、ハード面の対応も必要ではある。（行動に移しているが。）	
・ 校区内暗がり点検の毎年実施を、2年に1回ペースに変更することに伴い、新規の事業(活動)として、「交通安全運動」の実施を検討している。大通りでは、横断歩道のない道路の乱横断が見受けられる。そこで、定期的に、交通安全運動（横断歩道を渡る、横断歩道のない道路は渡らないなど）を実施し、交通事故の発生を未然に防ぐ取り組みが必要である。 ・ 非常炊き出し訓練と救命救急講習会などは、校区全体や町内会単位で実施され、内容も充実してきている。今後さらに、共催の立場としても、福祉部会、校区社会福祉協議会等と連携をし、計画の段階から相互に参加ができるように改善の必要がある。 ・ 災害時の避難所は、現在、屋内は「西伊敷福祉館」と「西伊敷小学校」である。 避難訓練等を実施するとともに、今後、可能ならば、各丁目ごとに避難場所を整備していくことも進める必要がある。	
・ アンケート結果からは、安心安全面では交通事故、不審者の心配など安全面での懸念が挙げられている。防犯灯・防犯カメラの設置や110番の家の充実への期待が大きいようである。関係機関や構成団体同士で話し合いを持つことも必要になってきている。	

◇ 福祉部会

《 事業(活動)方針 》

- ・ 少子高齢化の進展に伴う校区の課題等に積極的に取り組むとともに、地域住民が思いやりを持って支え合う福祉活動の活性化に努力します。

ア 事業(活動)実施評価表

番号	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)のねらい	実施評価（令和）					継続改善検討
				R1	R2	R3	R4	R5	
1	見守り活動支援	各町内会の活動支援	一人暮らしの高齢者を見守る	A	A	A	A	A	継続共催
2	非常炊き出し訓練と救急法講習会(防災講習会)	炊飯活動の実施 救急法の実演	災害時の対応の仕方の理解や活動	A	—	—	A	A	継続共催
3	子育てサロンの支援	親子での遊び、育児相談、情報交換等	子育て支援や親子の交流等（社協・民児協との連携）	A	A	A	A	A	継続共催
4	生活支援活動	一人暮らしや高齢者宅への訪問と見守り活動と声かけ	高齢者等への支援	A	A	A	A	A	継続共催
5	福祉に関する地域情報の発信	買い物支援業者の一覧表作成及び情報提供	買い物が不便な方々への情報発信による支援 住民の連携	D	D	D	D	D	継続共催
6	町内会との連携	町内会を構成団体へ（各部会に所属・一緒に活動）	住民の連携	A	A	A	A	A	継続共催

A：よくできた B：概ねできた C：ややできなかった D：できなかった
—：コロナのために中止 X：未実施

イ 福祉部会で実施した事業(活動)



「子育てサロン」の様子



「非常炊き出し体験等（成人学級・校区社協・福祉部会）」



ウ 福祉部会 現状と課題

現状 と 課題 （現在までの状況・改善点・これから取り組みたいことなど）

- 福祉部会と校区社会福祉協議会と合同で会議をしたり、活動をしたりすることで、活動の充実や効率化が図られている。また、部会委員は概ね重複しており、別々に活動をするより、負担が軽減されているようである。
- 高齢化率が高く、災害時の避難指定場所への移動が難しくなっている。
- 高齢化で買い物が不便な人も増えている。
- 一人暮らしの高齢者も多くなり、日常生活に不安を抱えている人もいると思われる。見守り活動の充実や地域の行事にもっと参加しやすい企画を工夫する必要がある。
- 地域によっては、買い物や交通の便の悪いところもあり。外出の不便さを解消するために、何ができるか考え、対策を検討する必要がある。
- 寝たきりや体の不自由な方、一人暮らしの高齢者の把握をし、何ができるか少しずつでも考える必要がある。
- 災害時等の緊急時に助け合いが必要である。災害への備えが整備されていない面もあるが、隣近所の高齢者等を把握し、どのような手立てができるか、他の部会とも連携して対応策を考える時期にきているのではないだろうか。
- 災害等の緊急時における高齢者の救助、連絡体制の確立が必要である。。
- 皆が、気軽に集えるサロンのような場所で話し合えるといいのではないだろうか。場づくりを考える時期にきている。
- 福祉に関する介護講習会や認知症への理解、子育て支援等、地域の相互扶助、共助の工夫がこれからは大切である。また、福祉関係団体の活動の広報を充実する必要がある。
- 高齢者が自ら動ける範囲で生きがいづくりに取り組む企画があればよい。また、福祉ボランティアの育成が必要である。対応を考えられないだろうか。
- 地域ぐるみでの防犯・防災体制づくりの対応を考える。（他の部会との連携も）
- 様々な制度の紹介や買い物の不便さを手助けできるように、地域の店舗の紹介など、企画した情報の発信を実践につなげていきたい。
- この数年で、若い世代も徐々に増えつつあるので、異世代交流も必要である。
- アンケート結果からは、「高齢者が利用できるサービスの設置」への期待が大きいようである。まちづくり協議会として、今後、何ができるか検討の余地がある。



◇ 社会教育部会

《 事業(活動)方針 》

- ・ 西伊敷住民の好奇心を涵養し、各種文化活動を推進・育成することにより、学ぶ楽しみ・集う楽しみ・仲間づくりに努めます。

ア 事業(活動)実施評価表

番号	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)のねらい	実施評価 (令和)					継続改善検討
				R1	R2	R3	R4	R5	
1	校区文化祭	校区民主体の「文化祭」の実施	文化的行事の実施と鑑賞により、地域の連帯感や所属館を高める	A	—	A 広報紙	—	A	継続主催
2	校区講演会	成人学級等での講座実施	知的好奇心の醸成	B	B	B	B	B	継続共催
3	町内会との連携	校区文化祭の広報や運営協力	部会委員である町内会長を通じて、町内会との連携強化を図る	B	D	D	D	A	継続協力

A：よくできた B：概ねできた C：ややできなかった D：できなかった
—：コロナのために中止 X：未実施

イ 社会教育部会で実施した事業(活動)



小学校金管バンドの演奏



絵画作品（中学生と一般）



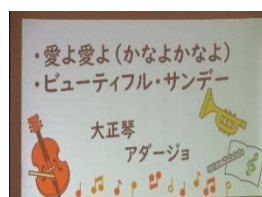
最後の総踊り



大田流 日本舞踊



はな野フラウエンコールのコーラス



プログラムをスクリーンで表示

ウ 社会教育部会 現状・課題と今後の取組

現状と課題 ・ 今後の取組

<現状と課題>

- ・ 校区文化祭は、令和2・3・4年度はコロナ下により、やむを得ず中止であったが、5年度は開催することができた。工夫した点として、舞台発表・展示発表の各団体と社会教育部会で開催に向けての合同の話し合い・協議を行った。初めての試みであったが、準備、当日の発表等に効果があったように思う。
今後とも、係分担、事前の協議、当日の運営など、さらに、改善を加えていく必要もある。また、観客の増加を図るため、魅力ある内容に工夫する必要がある。（内容を工夫し、大人から子どもまで参加できるようなものにするなど）
- ・ 社会学級（成人学級）の企画、運営、広報等工夫が必要である。また、参加者が固定化する傾向にある。興味・関心のある講座の工夫なども考える。
- ・ 校区の学習グループの実態把握ができればよいが。（西伊敷福祉館との連携が必要である。）
- ・ 高齢者は、これまで培った昔遊び等の伝承活動を望んでいる面もある。小学校との連携を強化できればよい。

<今後の取組の方向>

- ・ 社会学級の内容や運営の工夫が必要である。
- ・ 校区内で気軽に参加できる講座があればよい。
- ・ 生涯学習への理解を深める必要がある。
- ・ 住民の交流を目的に、「校区文化祭」のより一層の充実が望まれる。
- ・ 生涯学習の推進には自主的参加を促す取組みが必要である。
- ・ 文化的な行事の広報や活動内容、運営等の更なる改善が望まれる。
- ・ 学習意欲を高め、学習機会を提供するために、できれば学習内容希望調査の実施が考えられる。
- ・ 技能や知識をもった人材を発掘し、リーダーとして活動してもらうシステムづくりを進める必要がある。



社会教育部会



文化祭 会長挨拶



校区文化祭

◇ 健康づくり部会

《 事業(活動)方針 》

- ・ 西伊敷住民の健康の保持・増進とスポーツレクリエーション活動の推進を図り、元気で生き生きとした西伊敷住民を育成し、総参加の活力あるまちづくりにつなげます。

ア 事業(活動)実施評価表

番号	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)のねらい	実施評価（令和）					継続改善検討
				R1	R2	R3	R4	R5	
1	朝のラジオ体操会	総参加でラジオ体操を行う	ふれあい・健康づくりの醸成	A	A	—	B	A	継続主催
2	ウォーキング大会	総参加でのウォーキング大会を行う	地域住民のふれあい・健康の保持・増進	A	—	—	A	A	継続主催
3	救急救命講習会	救命救急の講習（地域の消防団との連携）	安心安全への意識高揚と醸成	B	—	—	—	—	共催

※ 令和5年度は、「ウォーキング大会・朝のラジオ体操会」は同一日に実施した。

また、その同日に、他の構成団体との連携として、「ウォーキング大会 & ハローウィングゲーム大会」をあいご会との共催で実施した。参加者数増加とともに、世代を越えた大人と子どもたちとの交流もできたようである。今後も継続していければと考えている。

A：よくできた B：概ねできた C：ややできなかった D：できなかった
—：コロナのために中止 ×：未実施

イ 健康づくり部会で実施した事業(活動)



朝のラジオ体操会



ウォーキング大会



ハローウィングゲーム大会関係



ウ 健康づくり部会 現状・課題と今後の取組・改善策等

現 状 ・ 課 題 ・ 改 善 策
＜現状＞ ・ 地域の中心部に位置する伊敷(団地)中央公園の施設で、スポーツを通じた活動は多く、昼夜問わずウォーキングやランニングを自主的に行っている住民も多く、健康や体力づくりへの関心が高いと考えられる。 ・ ラジオ体操及びウォーキング大会を、同時に開催するようになり、年々参加者は増加傾向にあると考えられる。 ＜課題＞ ・ 大会等への参加者が限られた人になっている。 ・ 若い世代の参加者がまだ少ない。 ・ スポーツを通じた地域づくりが乏しい。 ・ 参加を促すための時世に適した方法が不足しているようである。 ・ 気軽に健康づくりに取り組める環境が少ない。 ・ 世代を越えた健康づくり活動が少ない。 ＜改善策＞ ・ ウォーキング大会への参加者は増えてきているが、もっと内容を充実させる必要がある。 ・ 生涯スポーツの観点から、各年齢層が求める手軽な参加しやすい活動を発掘する必要がある。(現在のウォーキング大会以外の活動やニュースポーツなど興味を引きそうなものを考える。) ・ 健康に関する講座や健康づくり教室の開催を考える。 ・ スポーツを通じた交流を、更に推進する。 ・ 健康保持増進の啓発活動を充実する。 ・ ウォーキングマップの作成、ウォーキングコースの距離表示を考える。 ・ ウォーキング大会の参加人数を増やすために、小学生や高齢者の参加を増やすこと・企画そのものに興味を抱かせられる工夫をすること・地域全体への発信が今まで以上に広がるツールを確立することが挙げられる。 ・ 健康づくり教室を開催する。(講師要請なども含めて) ＜今後の取組み＞ ・ 健康づくり部会の柱として、あいご会との共催による世代を越えた交流を目的とする「ラジオ体操会及びウォーキング大会&あいご会とのゲーム大会など」を毎年開催する。 ・ アンケートの結果からもウォーキング等、健康づくりへの期待は大きい。これからも大人・子ども・高齢者ともに参加できるような運動への取組みの場や内容の充実を図る必要がある。多くの人が集えるものにできればよいと思う。 ・ グラウンドゴルフはお年寄りのスポーツのイメージが強いが、小学生を取り込んだイベントを開催し、グラウンドゴルフの認知度を上げつつ、世代を越えた交流の場を増やしてみる。  健康づくり部会  ゲーム大会の様子

◇ 青少年育成部会

《 事業(活動)方針 》

- ・ 西伊敷の青少年の健全な育成を図るために、郷中教育の良さを盛り込みつつ、家庭・学校・地域が一体となって「西伊敷っ子」の成長の支援に努めます。

ア 事業(活動)実施評価表

番号	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)のねらい	実施評価(令和)					継続改善検討
				R1	R2	R3	R4	R5	
1	立志のつどい	「自分の夢・希望」発表や講演会・シンポジウムの実施	中学2年生の自己啓発や故郷愛の育成	A	—	—	A	A	継続主催
2	文集「立志」の作成・配布〔中2年生へ〕	「夢・希望」の色紙作成及び文集の作成	将来の自己実現に向けての意識付けと実践意欲の醸成	—	A	A	A	A	継続主催
3	青少年健全育成大会	実施できなかった	青少年への健全育成と自立心・自己啓発の醸成	—	—	—	—	—	主催
4	あいご会・町内会との連携	連携を図りながら各事業を進める	西伊敷全体で、青少年の健全な育成を行う	—	B	—	—	B	継続共催

A：よくできた B：概ねできた C：ややできなかった D：できなかった
 —：コロナのために中止 X：未実施

イ 青少年育成部会で実施した事業(活動)



ウ 青少年育成部会 現状と今後の取組

現 状 ・ 課 題 ・ 今後の取り組み
1 「立志のつどい」の実施と充実 ・ 中学生の実行委員会を結成して立志のつどいの意義の理解・役割分担・運営に関わるにとともに、青少年育成部会と連携して実施している。 ・ 生徒が進行・発表・運営等に自ら関わりながら進めることで、主体性、自主性も培われている。（前日準備、当日の運営等） ・ 西伊敷小学校出身の大先輩を招いて、「シンポジウム」を実施している。様々な方々の話を討論形式で聞くことにより、自分のこれからの生き方や進路等に示唆を与えるものとなっているように思う。 ・ 後半では、ミニ同窓会を実施して、親交を深めている。 ・ 生徒が書いた「夢・希望の色紙」を会場に掲示するとともに、それらをもとにした文集「立志」を作成し、中学二年生に配布している。中学生の進路選択や生き方に対して今後の参考になればと思う。 2 子どもを取り巻く社会環境 ・ 異年齢集団での活動が少ないと考えられる。 ・ 携帯やインターネット等での有害情報が青少年の健全育成に弊害をきたしている面もある。 ・ 塾通いや習い事等、子どもたちに時間的余裕がない。 ・ 少子化や核家族化、都市化、価値観の多様化が進んでいる。 ・ 情報機器の急速な発達で、ネットトラブル被害に巻き込まれるリスクが高くなってきている。 3 家庭の教育力 ・ 仕事の忙しさ等で、親子のコミュニケーションが不足し、家庭教育力低下が懸念される。 ・ 地域への関心が低く、町内会やあいご会行事への参加率が低くなっている面もある。 4 地域の教育力 ・ 子どもを育成する大人の意識改革が必要である。 ・ 地域での世代間の交流が不足していると考えられる。 ・ 学校・家庭・地域の連携をさらに綿密にする必要がある。 5 あいご会 ・ あいご会活動は、市民みんなで育成する組織であることを理解していない人が多いのではないだろうか。 ・ あいご会などの団体の育成・支援が大事である。 ・ あいご会と他の関係機関・団体との連携・強化が必要である。 6 研修会 ・ 青少年健全育成のための研修会や講演会等、子どもを持つ保護者が積極的に参加できるような気風を高める必要がある。

立志～中学生実行委員会



4 第2期 まちづくりプランと3つの柱

まちづくりプランは、1期5年を計画期間として策定します。私たちの西伊敷校区をどんなまちにしていきたいか。多様な課題解決（地域資源の活用、暮らしやすい地域づくりなど）に取り組んでいくための計画です。

これまで取り組んできた活動の結果を踏まえて、活動を進めていく3つの柱を設定しました。

年度ごとに、計画・実施・評価・改善しながら、実行していきます。

笑顔あふれるまちづくり活動

明るく住みよいまちづくりのために、住民全員が活躍できる活動を行います。

福祉・体験・健康増進活動

子どもから高齢者まで様々な世代に向けた福祉活動や異年齢体験活動を行います。

安心安全支援活動

安心安全で暮らしやすい校区にするために、防災・防犯を充実する活動を行います。

5 校区の概要

(人口データは国勢調査結果)

(校区の歴史・特徴)

私たちの西伊敷校区は、鹿児島市の北西部に位置する高台にある団地です。昭和40年代、日本の高度経済成長に伴い、鹿児島市の人口増に対応するため、伊敷町と岡之原町にまたがる高野原台地が造成されました。現在、西伊敷1丁目から7丁目まで区割りされており「伊敷団地」の愛称で親しまれてきました。

鹿児島北インターが近く、多くの住民が集まり、最盛期は人口が1万人を超え、ある程度まとまった商業施設やバスの便の多さで、安心安全で便利な暮らしを実現してきました。

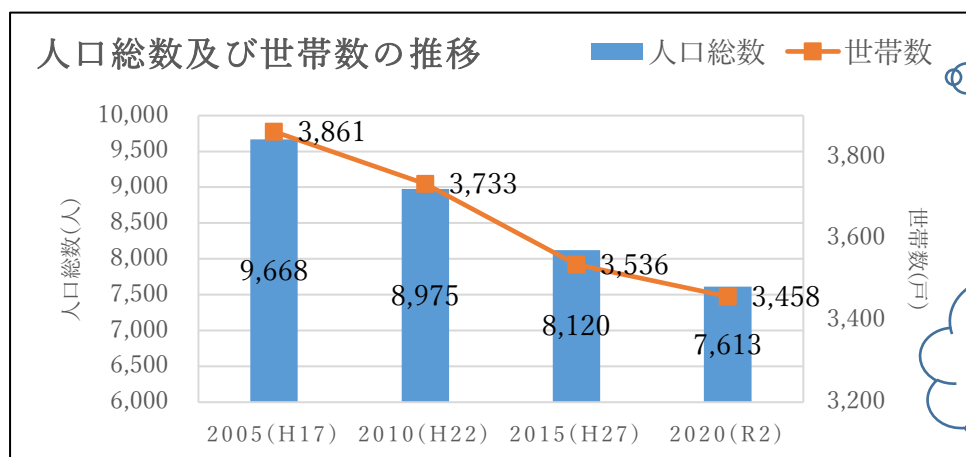
さらに、河川や幹線道路などで地域が分断されない地勢的な要因や、「西伊敷」の地名の住所が全て西伊敷小学校に通う「一地名一校区」です。また、地域住民が参加した活発なスポーツ活動・文化活動の成果もあって、校区の一体感が醸成されてきています。

(校区の現状認識・課題)

少子高齢化で人口減少社会を迎え、小学校の児童数が減ってきていましたが、近年は新しい住宅が建ち始め、少しずつ児童数も増え、元気な子どもたちの声も聞こえてきています。しかし、独居高齢者が増加し空き家・空き地が増加して、地域社会の運営や活動が今までどおりにはいなくなってきました。そこで、今後も校区内の各種団体・個人・企業が協力して、計画的にまちづくりをしていく体制が一層、求められてきています。

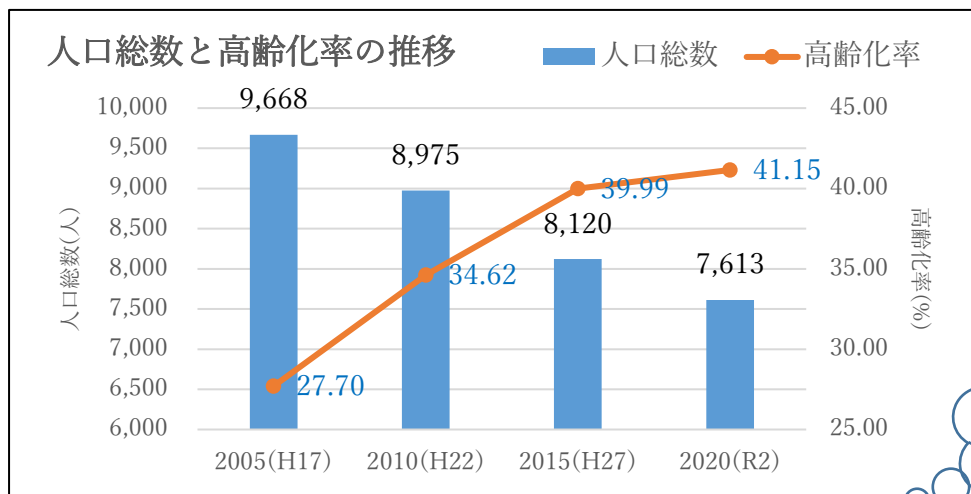
西伊敷校区は、周囲は自然が豊かな校区でもあります。また、地域住民同士のふれあいもあり、町内会やまちづくり協議会などを中心に青少年健全育成やふるさとづくり・まちの活性化など様々なまちづくり構成団体・組織の活発な活動に支えられながら、住民が一体となり「住みよいまちづくり」に取り組んでいこうとしているところです。

(1) 校区の人口、世帯数、高齢化率、人口ピラミッド

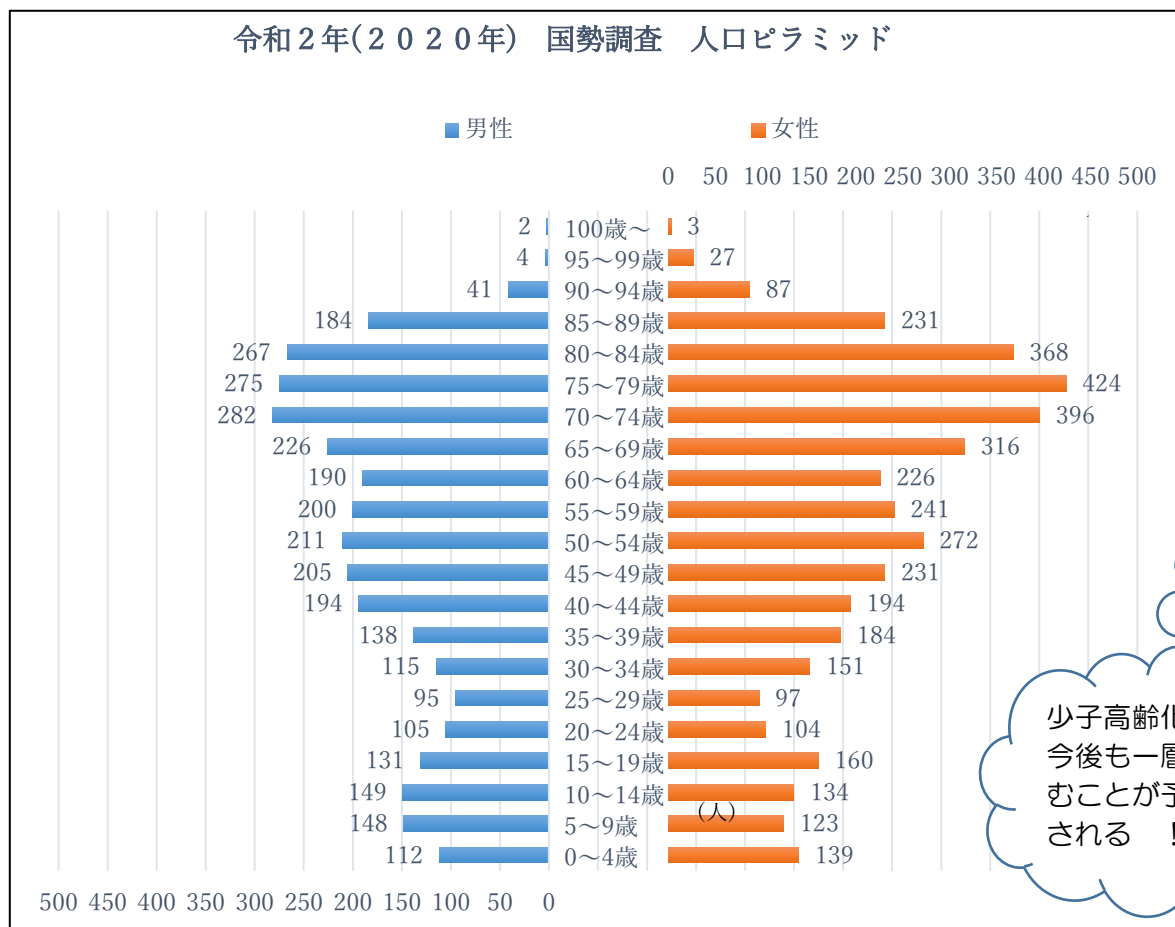
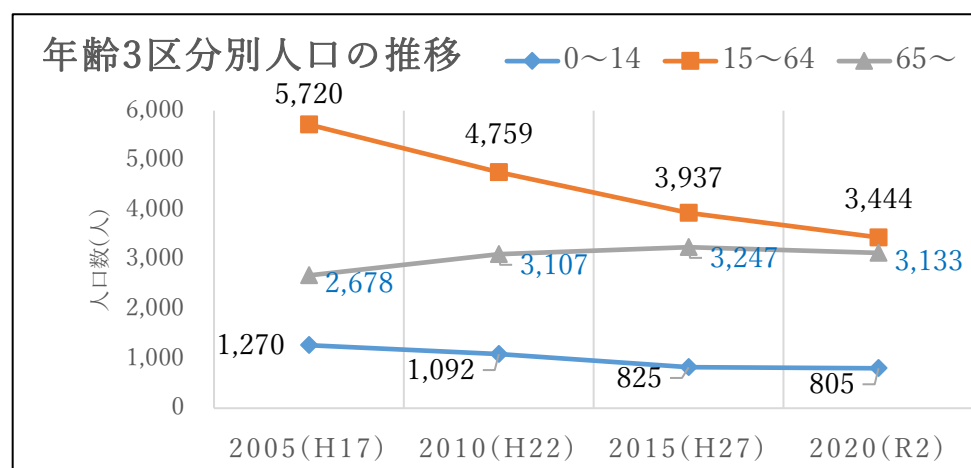


人口及び世帯数は確実に減少傾向！

少子高齢化は西伊敷校区も例外なし！



労働人口も
減少傾向で
推移 ！



少子高齢化は
今後も一層進
むことが予想
される ！

(2) 構成団体

- ・町内会連合会
- ・第1区町内会
- ・第2区町内会
- ・第3区町内会
- ・第4区町内会
- ・第5区町内会
- ・西部第一町内会
- ・七友会町内会
- ・第6区町内会
- ・第7区町内会
- ・第8区町内会
- ・第9区町内会
- ・第10区町内会
- ・第11区町内会
- ・第12区町内会
- ・第13区町内会
- ・5丁目町内会
- ・6・7丁目町内会
- ・公務員宿舍町内会
- ・西部第二町内会
- ・西部第三町内会
- ・校区社会福祉協議会
- ・校区あいご会
- ・西伊敷地区民生委員児童委員協議会
- ・地域安心安全ネットワーク会議
- ・西伊敷福祉館
- ・高齢者クラブ
- ・西伊敷小学校
- ・西伊敷小学校PTA
- ・西伊敷小学校おやじの会
- ・西伊敷小家庭教育学級
- ・緑丘中学校
- ・緑丘中学校地域PTA
- ・こまどり保育園
- ・西伊敷児童クラブ
- ・長寿あんしん相談センター
- ・特別養護老人ホーム 七福神
- ・西伊敷明正会
- ・西伊敷商店街通り会
- ・南日本新聞販売伊敷団地
- ・アポロ電気
- ・西伊敷成人学級
- ・西伊敷校区退職校長会
- ・スポーツ推進委員
- ・旧体育指導委員
- ・西伊敷スポーツ少年団指導者連絡会
- ・児童通学保護員
- ・通学ボランティア
- ・西地区交通安全協会
- ・西伊敷消防団
- ・西伊敷青色防犯パトロール隊
- ・110番の家
- ・西伊敷ソフトボール協会
- ・警察OB（西伊敷）
- ・大田流舞踊
- ・ウエルカムデイズ
- ・なかむら整形外科
- ・富永内科
- ・西伊敷健康クラブ
- ・カトリアクラブ
- ・セブンイレブン
- ・はな野フラウエンコール
- ・いがずんばい nishiishiki（計 62団体）

(3) 関係小中学校児童生徒数（令和6年4月8日現在）

- ・西伊敷小学校（389）人
- ・緑丘中学校（364）人

(4) 主な関係施設・場所等（緊急避難場所・その他）

西伊敷福祉館（指定緊急避難場）



長寿あんしん相談センター 西伊敷



西伊敷小学校（指定緊急避難場）



緑丘中学校（指定緊急避難場）



伊敷団地中央公園（地震時の緊急避難場所）



伊敷団地第一公園（地震時の緊急避難場所）



6 まちづくりの目標

(1) まちづくりの目標（スローガン）

「西伊敷住民総活躍で地域力を発揮！」

～ 50周年を迎えた西伊敷、

つなごう次の100年！～

(2) 目指す将来像

西伊敷まちづくり協議会は、西伊敷住民同士が親睦を図ることを推進します。それにより、住民相互の理解を深め「各住民ができること」を住民間で共有し、「住民全員が活躍できるまち」になるための素地を作っていきたいと考えます。

その上で、今後とも住民一人一人がマンパワーを発揮し、身近な課題の解決や地域資源を活かした活動など「地域主体のまちづくり」に貢献できるよう、西伊敷住民総活躍で地域力を発揮するための仕組みづくりに努めます。

同時に住民相互の理解を深めることで、今まで以上に「信頼しあえる豊かな人間関係」を構築し、自助・共助・公助による密な連携で「安心安全に暮らせるまち」「地域でふるさと自慢ができ、元気を感じることができる活力あるまち」そのような地域コミュニティづくりを進めます。

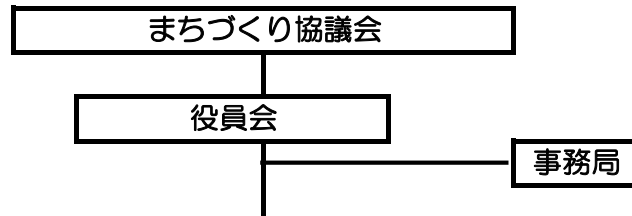
このように「住民総活躍」をひとつのキーワードとしてまちづくりを行うことで、西伊敷が培ってきたこれまでの風土のいいところをさらに伸ばし、「住んでいてよかった」と思えるまちづくりに努めます。

第2期まちづくり5か年プランでは、「西伊敷住民総活躍で地域力を発揮！～50周年を迎えた西伊敷、つなごう次の100年！」のスローガンのもと、活動の成果を上げて「住みたい街」「帰りたい街」「誇りを持てる街」を構築し、次の世代にバトンを渡せればと考えております。

(3) 運営方針

- ① 西伊敷住民が故郷意識を持って「住んでいてよかった」と思えるまちづくり、次世代につながるまちづくりに努めます。
- ② 子どもから高齢者まで、住民みんなが夢や希望を持ち、お互いをより深く知ることによって信頼関係を構築し、共に助け合いながら「笑顔あふれる」まちづくりに努めます。
- ③ 各部会の自発的・主体的活動の充実と活動を通しての人材発掘及び人材育成に努めます。
- ④ 各部会の構成団体同士の連携を図り、効率的かつ効果的な事業(活動)推進に努めます。
- ⑤ これまでのふりかえりや地域の課題を基に作成した「第2期まちづくり5か年プラン（地域振興計画）」に基づき、西伊敷の特性を活かした実践活動に努めます。
- ⑥ 各部会の事業(活動)については、インフルエンザ・コロナ等、様々な感染の防止に十分配慮し、対策を講じながら実施に努めます。

7 推進組織と活動方針・主な活動



部会名	活動方針	主な活動	構成団体等
総務広報部会	- まちづくり協議会の総合窓口を努めるとともに、協議会全体の調整をしながら、広報宣伝活動を実施します。 - 西伊敷における人材の掘り起こしを進めます。	◎ まちづくり計画の作成・実施 ○ 行事日程等の調整 ◎ 広報活動「たかのぼる」発行 ○ 夏祭りの支援・協力（共催） ○ まちづくりプランの企画等 ○ 町内会との連携	町内会連合会 町内会 小学校 小学校PTA 商店街通り会 南日本新聞販売所 校区社会福祉協議会 アポロ電気
安心安全部会	- 西伊敷における各種自然災害への防災意識の普及や交通安全・犯罪未然防止に努めます。 - 校区内点検（危険箇所点検）等を通し、相互に支え合う体制の充実に努めます。 - 地域安全モニターとも連携し、地域の安心安全に努めます。	◎ 安心安全ネットワーク会議の推進 ◎ 交通安全協会の活動支援協力 ◎ 校区内安全点検の実施・広報 ○ 防災避難訓練の計画作成実施 ◎ 青色防犯パトロール隊活動 ◎ 朝の登校見守り・声かけ実施 ◎ 校区内暗がり点検の実施 ○ 地域安全モニターの活動協力 ○ 町内会との連携	町内会連合会 町内会 あいご会 小学校 中学校 小学校スクールゾーン委員会 校区社会福祉協議会 西伊敷民生委員児童委員協議会 小学校PTA こまどり保育園 警察OB 110番の家 退職校長会 児童通学保護員 老人（高齢者）クラブ 通学ボランティア 消防団 明正会 校区交通安全協会 （警察OB）（安全モニター）
福祉部会	- 少子高齢化の進展に伴う校区の課題等に積極的に取り組むとともに、地域住民が思いやりをもって支え合う福祉活動の活性化に努めます。 - 校区社会福祉協議会との連携を進めます。	◎ 校区社会福祉協議会と連携を図り、会議、事業等の実施 ○ 見守り活動支援 ◎ 非常炊き出し訓練と救護法講習会 ○ 子育てサロンの支援 ○ 生活支援活動 ○ 福祉に関する地域情報の発信 ○ 町内会との連携	町内会連合会 町内会 校区社会福祉協議会 西伊敷福祉館 児童クラブ 西伊敷民生委員児童委員協議会 長寿あんしん相談センター 特別養護老人ホーム 七福神 ウェルカムデイズ セブン-イレブン
社会教育部会	西伊敷住民の知的・文化的好奇心を涵養し、各種文化活動を推進・育成することにより、学び・楽しみ・集う楽しみ・仲間づくりに努めます。	◎ 校区文化祭の実施と広報連携 ○ 社会学級（成人学級）の運営・支援・広報・拡充 ○ 校区の生涯学習講座等の掘り起こしや講演会の計画作成 ○ 町内会との連携	町内会 小学校 小学校PTA 成人学級 家庭教育学級 退職校長会 カトリッククラブ 明正会 西伊敷健康クラブ アダージョ 老人（高齢者）クラブ 大田流舞踊 一丁目いきいき会 はな野フラウエンコール いがすんばいnishiishiki
健康づくり部会	- 西伊敷住民の健康の保持促進とスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。 - 元気で生き生きとした西伊敷になるよう事業等を進め、住民総参加による活力あるまちづくりにつなげます。	◎ 「ラジオ体操」及び「ウォーキング大会」の開催と広報 ◎ あいご会との連携によるゲーム大会等の実施 ○ 健康教室講座の開催（共催） ○ グラウンドゴルフ大会の実施 ○ あいご会・町内会との連携	町内会 小学校 小学校PTA スポーツ推進委員 旧体育指導委員 ソフトボール協会 なかむら整形外科 富永内科 通学ボランティア
青少年育成部会	- 西伊敷の青少年の健全な育成を図るために、郷中教育のよさを盛り込みつつ、家庭・学校・地域が一体となって「西伊敷っ子」の成長の支援を努めます。 - 校区あいご会との連携・協力を推進します。	◎ 「立志式のつどい」の開催と内容の充実 ◎ 文集「立志」の作成・配布 ○ あいご会の育成協力・支援 ○ 青少年健全育成大会の実施 ○ 町内会との連携	町内会 あいご会 小学校 中学校 小学校PTA 中学校地域PTA スポーツ少年団 おやじの会 （商店街通り会）

8 各部会の具体的な取組

◇ 総務広報部会

番号	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)のねらい	実施計画(令和)					継続 共催 新規
				R6	R7	R8	R9	R10	
1	・各種行事の企画	・行事日程調整 ・町内会夏祭り準備等(共催で協力)	・地域住民の相互交流 ・ふれあい交流	○	○	○	○	○	新規共催
2	・情報収集と情報発信	・「まち協だより」の発行 ・PTA新聞等との連携	・情報発信及び学校・地域とのつながりを共有し、活動の充実・実施	○	○	○	○	○	継続主催
3	・広報紙「たかのばる」の発行 ・町内会との連携	・町内会活動を発信 ・まちづくり協議会活動の情報発信 ・各構成団体の紹介や情報発信	・伊敷団地全体の住民の方々との情報共有 ・紙面を通してのコミュニケーションづくりのきっかけとなるツールとしての充実を図る。	○	○	○	○	○	継続主催

○：実施 継続：継続実施 共催：共催実施 新規：新規で実施

◇ 安心安全部会

番号	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)のねらい	実施計画(令和)					継続 共催 新規
				R6	R7	R8	R9	R10	
1	・校区内安全点検	・校区内の危険箇所等の把握	・安心安全な暮らしの確保	○	○	○	○	○	継続主催
2	・校区内暗がり点検(隔年実施)	・夜間の照明灯の確認	・安心安全な暮らしの確保	○	×	○	×	○	継続主催
3	・校区内青色防犯パトロール(青パト隊)活動	・巡回パトロール ・毎週3回実施(主に月・水・金)	・校区の見守りや安全支援等	○	○	○	○	○	継続主催
4	・町内会との連携	・町内会を構成団体へ(各部会に所属)	・住民の連携	○	○	○	○	○	継続
5	・朝の登校見守り、声かけ等	・児童通学保護員・通学ボランティアによる見守り・声かけ等	・児童・生徒の安心安全支援	○	○	○	○	○	継続主催
6	・非常炊き出し及び救急法講(防災講習会)	・炊飯活動 ・救急法の実演・研修	・災害時の対応の仕方の理解や活動	○	○	○	○	○	継続共催
7	・交通安全運動の実施	・商業施設近辺での乱横断を防止 ・地域安全モニターとの連携	・高齢者等による乱横断を防止し、交通事故防止につなげる	○	○	△	○	△	新規主催

○：実施 継続：継続実施 共催：共催実施 新規：新規で実施

◇ 福祉部会

番号	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)の ねらい	実施計画（令和）					継続 共催 新規
				R6	R7	R8	R9	R10	
1	・見守り活動 支援	・各町内会の活動 支援	・一人暮らしの高 齢者の見守り	○	○	○	○	○	継続 共催
2	・非常炊き出し 訓練と救急法 講習会（防災 講習会）	・炊飯活動 ・救急法の実演	・災害時の対応の 仕方の理解や活 動	○	○	○	○	○	継続 共催
3	・子育てサロンの 支援	・親子での遊び、 育児相談、情報 交換等	・子育て支援や親 子の交流等 （社協・民児協 との連携）	○	○	○	○	○	継続 共催
4	・生活支援活動	・一人暮らしや高齢 者宅への訪問と見 守り活動と声かけ	・高齢者等への 支援	○	○	○	○	○	継続 共催
5	・福祉に関する 地域情報の 発信	・買い物支援業者の 一覧表作成及び 情報提供	・買い物が不便な 方々への情報発信 による支援住 民の連携	○	○	○	○	○	継続 共催
6	・町内会との 連携 ・校区社協との 一層の連携	・町内会を構成団体 へ（各部会に所属・ 一緒に活動）	・部会委員の町内 会長を通して、 町内会連合会 との連携	○	○	○	○	○	継続 共催

○：実施 継続：継続実施 共催：共催実施 新規：新規で実施

◇ 社会教育部会

	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)の ねらい	実施計画（令和）					継続 共催 新規
				R6	R7	R8	R9	R10	
1	・校区文化祭の 開催	・校区民主体の 文化祭の実施	・校区の文化活動 個人や団体の 掘り起こしと 発表の場の 提供	○	○	○	○	○	継続 主催
2	・講演会・講座 の開催	・成人学級だけで なく校区内での講座 との連携	・校区で行われる 大小の講座の 把握と連携の 強化	○	○	○	○	○	継続 共催
3	・町内会との 連携	・校区文化祭の広報 準備・運営の協力 強化	・部会委員の町内 会長を通して 町内会連合会 との連携強化	○	○	○	○	○	継続 共催

○：実施 継続：継続実施 共催：共催実施 新規：新規で実施

◇ 健康づくり部会

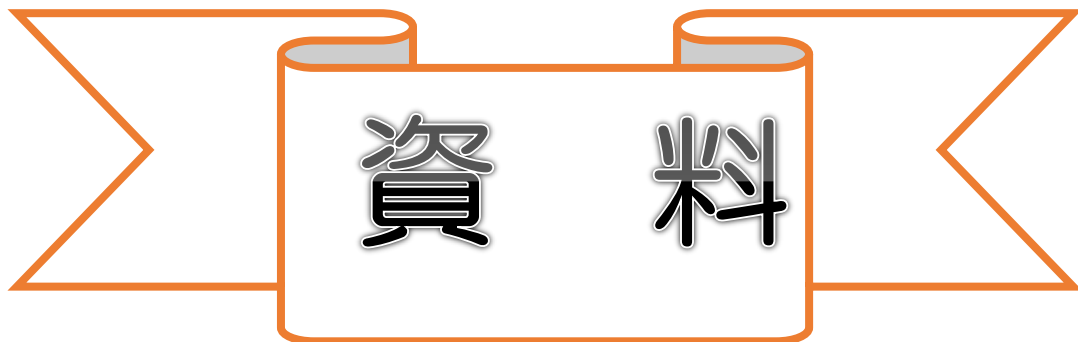
番号	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)のねらい	実施計画(令和)					継続 共催 新規
				R6	R7	R8	R9	R10	
1	・朝のラジオ体操会・ウォーキング大会及び ・あいご会との共催によるゲーム大会	・総参加でラジオ体操会とウォーキング大会を行う。 ・あいご会との共催によるゲーム大会を実施し、世代間の交流を行う。 (ハローウィンゲーム大会など)	・ふれあい・健康づくりの醸成 ・地域住民のふれあい・健康の保持・増進を図る。 ・ゲーム等を通して、世代間の交流を図る。	○	○	○	○	○	継続 共催
2	・救急救命講習会	・救命救急の講習(地域の消防団との連携等)	・安心安全への意識高揚と醸成 (他部会との共催)	○	○	○	○	○	継続 共催
3	・グラウンドゴルフ大会	・地域住民(高齢者・青少年・大人等)総出でグラウンドゴルフ大会を開催する。	・主に、高齢者・青少年との交流を図り、親睦を深める。	△	○	○	○	○	新規
4	・あいご会・町内会との連携	・町内会の組織との連携を図る。	・部会委員の町内会長を通して町内会連合会との連携を図る。	○	○	○	○	○	継続

○：実施 継続：継続実施 共催：共催実施 新規：新規で実施

◇ 青少年育成部会

番号	事業(活動)名	事業(活動)内容	事業(活動)のねらい	実施計画(令和)					継続 共催 新規
				R6	R7	R8	R9	R10	
1	・立志のつどいの実施	・自分の夢・希望発表や講演会・シンポジウムの実施	・中学2年生の自己啓発や故郷愛の育成	○	○	○	○	○	継続 主催
2	・文集「立志」の作成・配布〔中2年生へ〕	・中学生の「夢・希望」の色紙作成及び文集への掲載	・将来の自己実現に向けての意識付けと実践意欲の醸成	○	○	○	○	○	継続 主催
3	・青少年健全育成大会	・新規の実施であるので、今後、部会等で詳細の検討	・青少年への健全育成と自立心・自己啓発の醸成	○	○	○	○	○	新規 主催 共催
4	・あいご会や町内会との連携	・町内会の組織との連携を図る。	・部会委員の町内会長を通して町内会連合会との連携を図る。	○	○	○	○	○	継続

○：実施 継続：継続実施 共催：共催実施 新規：新規で実施



- 1 アンケート結果・・・・・・・・P 24
- 2 プラン策定委員・・・・・・・・P 37
- 3 プラン策定経過・・・・・・・・P 37
- 4 行事等実施計画例・・・・・・・・P 38
- 5 校区安心安全福祉マップ・P 42
(西伊敷校区)

1 アンケート結果

西伊敷まちづくり協議会「第2期まちづくりプラン」策定のアンケート結果

西伊敷まちづくり協議会では、「第2期まちづくりプラン」の策定に先立ち、地域在住の皆さまを対象としたアンケート調査を実施いたしました。アンケート結果につきましては以下の通りです。

1. 実施期間 令和6年1月実施

2. 対象者 西伊敷校区各町内会会員世帯（抽出）
鹿児島市立西伊敷小学校の全保護者
鹿児島市立緑丘中学校で西伊敷小学校卒業生の保護者

3. アンケートの内容

- (1) アンケート回答者の年齢・性別 ←個人を特定できないように十分に配慮して行った。
 - (2) 西伊敷まちづくり協議会の活動の周知状況
 - (3) 回答者の生活属性について
 - ① 小学校・中学校の保護者 ② 西伊敷に在住して10年未満 ③ 西伊敷に在住して10年以上
 - (4) 西伊敷に在住している中での不安や問題点について
 - (5) 西伊敷のまちづくりに関する期待や希望について
 - (6) 西伊敷地区で理想的な風土を醸成するための活動について
 - (7) 西伊敷地区の情報共有手段について
 - (8) 西伊敷でのこれまでの行事・イベントについて
 - (9) 今後のまちづくりにについて
- ※ これらのアンケート結果については、次のページ以降にて詳説する。

4. アンケート回答者数

性別	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不詳	合計 ()は割合
男性	2名	7名	20名	18名	13名	15名	13名	0名	88名(21.2%)
女性	5名	60名	98名	55名	33名	45名	16名	1名	313名(75.6%)
不詳	1名	4名	3名	1名	0名	0名	0名	4名	13名(3.1%)
年齢層別合計 ()は割合	8名 (1.9)	71名 (17.1)	121名 (29.2)	74名 (17.9)	46名 (11.1)	60名 (14.4)	29名 (7.0)	5名 (1.2)	414名

西伊敷まちづくり協議会が実施したアンケートについては、子育て世代や高齢者のまちづくりへの課題意識、西伊敷に対するニーズ等を整理していきます。これらの結果については、西伊敷まちづくり第2期プランの策定及び今後のまちづくりの参考資料として活用いたします。

「西伊敷まちづくり協議会」第2期まちづくりプラン策定のアンケート詳細

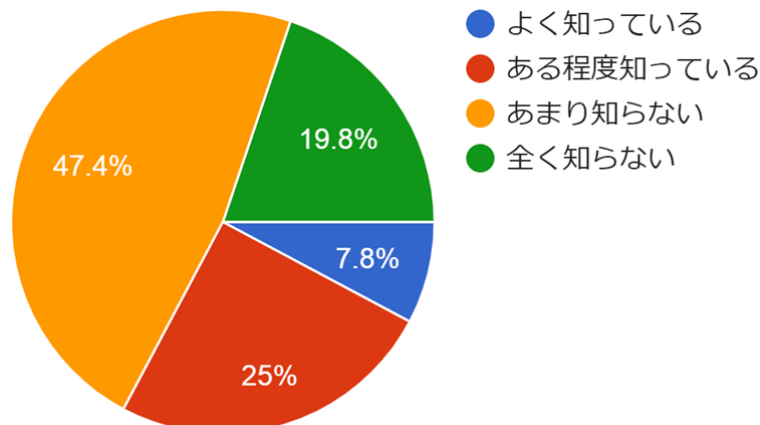
① 西伊敷まちづくり協議会の活動について知っているか？（回答数＝414名）

右の図のように

- よく知っている＝7.8%
- ある程度知っている＝25.0% に対し、
- あまり知らない＝47.4%
- 全く知らない＝19.8%

となるなど、まちづくり協議会の知名度はとても低い状態になっています。

今後は、まちづくり協議会の活動の周知および徹底を図っていく必要があります。



② （小・中学生の保護者対象）西伊敷は子育てに適した町か？（回答数＝187名）

「西伊敷は子育てに適した町か」という問いかけに対し、

- 思う（48件、25.7%）
- どちらかと言えば思う（120件、64.2%）

という90%近い回答を得られました。

また、それについての理由を問うた次の問題では

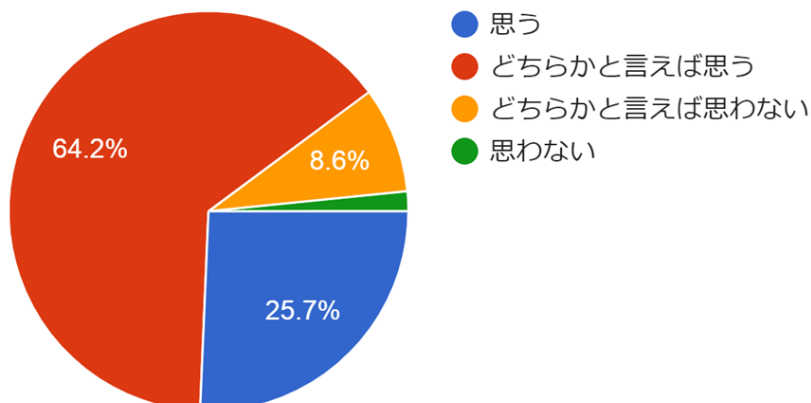
- 地域の方々との交流がありよい環境
- 地域の方々の声かけがあり温かい
- 静かで治安のよい街

といった好意的な意見も寄せられています。

他方、

- 施設の不足（商業施設・病院・児童館等）
- 子育て世帯の負担が大きすぎる（町内会・PTA・あいご会等）
- アナログな印象が強く、長年住み続ける方や高齢者ファーストな地域

といった、団地創立50年を迎えた地域に見られるような意見も若干挙げられています。



③ 西伊敷地区の良さ（回答数＝186名）

西伊敷のよい所はどこか尋ねたところ、以下のような回答が得られました（一部抜粋）。

- 静かで暮らしやすいところ（複数回答）
- ウォーキングされているご年配の方が多く、声かけもあり、防犯の意味でもよいことだ
- 銀行・郵便局・スーパーなどがコンパクトにまとまっている
- 地域住民の方が優しい（複数回答）
- 災害時の津波・水害などの心配がない（複数回答）
- バスなどの公共交通の便がよい（複数回答）
- 鹿児島市中心部のみならず、近郊の始良方面や日置市方面、さらに空港へのアクセスがよい

④ 西伊敷地区に住んでいて、日頃不安に思うこと （回答数＝414名）

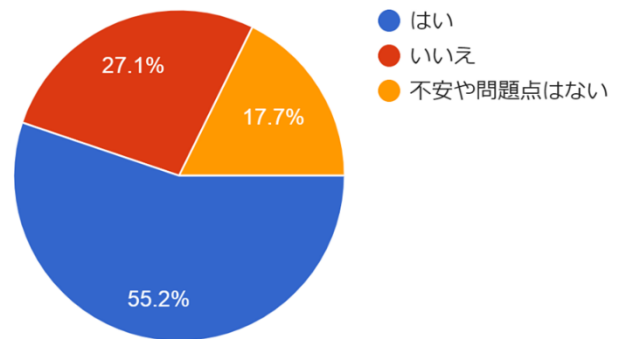
「西伊敷地区に住んでいて、日頃不安に思うことについて」問うたところ、以下のような回答が得られました。

- 高齢化が進み、今後が心配（複数回答多数）
- 交番がなくなり、不審者も散見されることから、治安に不安がある
- 通勤時間帯に国道3号線に降りるまでが渋滞する
- 5丁目は特にバスも通っておらず、日が沈んでとても暗いため、大きくなるにつれて、子どもたちも帰宅が遅くなるから心配

なお、「地域に関する不安や相談相手がいるか」を問うたところ、右のデータが採集できました（回答数＝234件）。

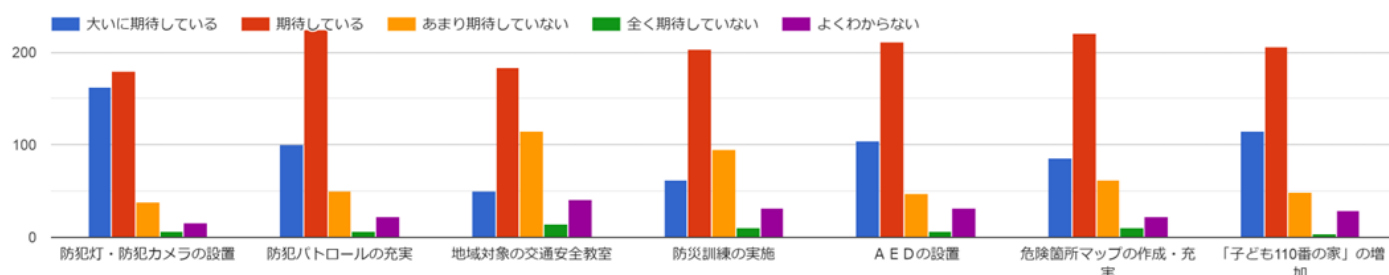
「はい」と回答した方のうち、相談相手として多かったのが家族（159名・67.9%）と近所の方（130名・55.6%）でした。そのほかには、町内会役員（44名・18.8%）や市役所・支所の相談窓口（19名・8.1%）も多く挙げられました。

まちづくり協議会の役員に相談する方は10名（4.3%）と低い割合になっていました。まちづくり協議会の認知度との関連も含め、今後の活躍が期待されることです。



⑤ 西伊敷地区のまちづくりに関する希望や期待 (回答数=414名)

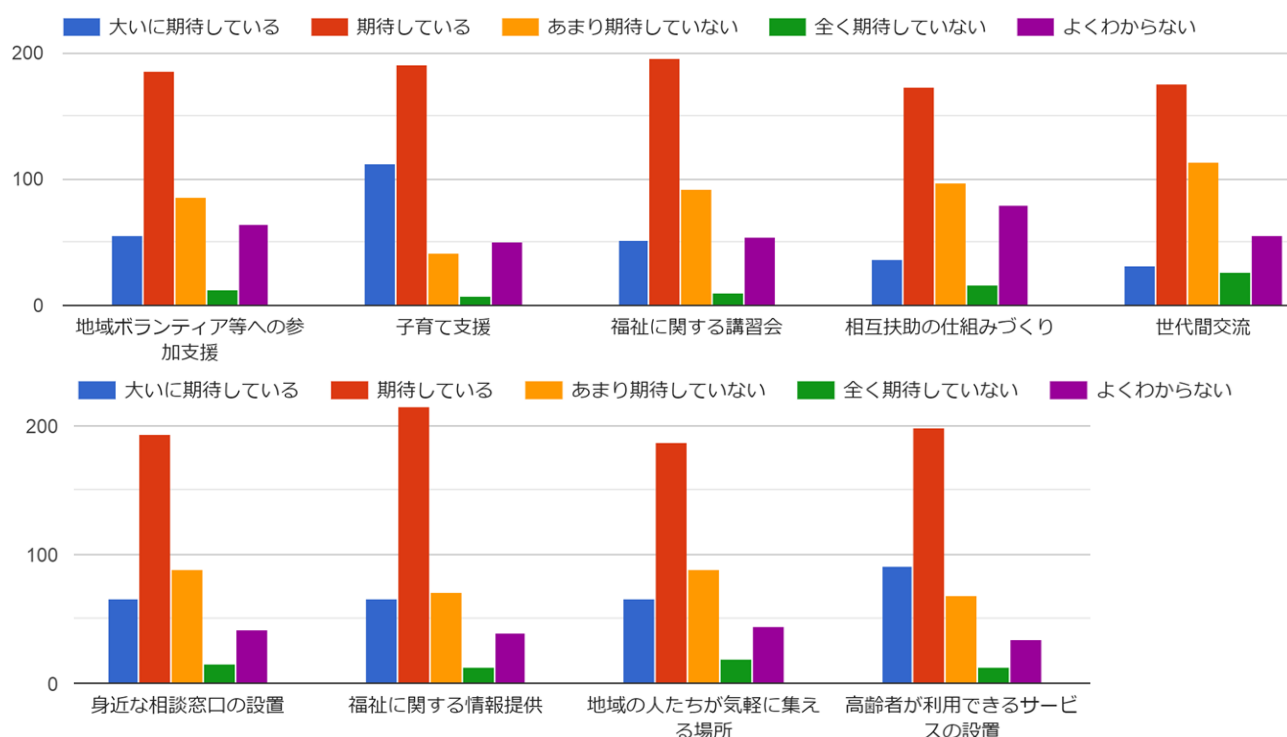
(1) 安心安全に関すること



上記は、西伊敷の安心安全に関することとして、「防犯灯・防犯カメラの設置」「防犯パトロールの充実」「地域対象の交通安全教室」「防災訓練の実施」「AEDの設置」「危険箇所マップの作成・充実」「子ども110番の家」の増加の7点について、「大いに期待している」「期待している」「あまり期待していない」「全く期待していない」「よくわからない」の5つから回答してもらう選択肢として問いました。

それぞれの回答に一定数の「よくわからない」を選択して人はいるものの、全体的には「大いに期待している」「期待している」が高い割合を占めていることがわかります。特に、「防犯灯・防犯カメラの設置」や「子ども110番の家の充実」への期待が非常に高いことが読み取れます。他方、「地域対象の交通安全教室」の期待度があまり高くないのが特徴でした。

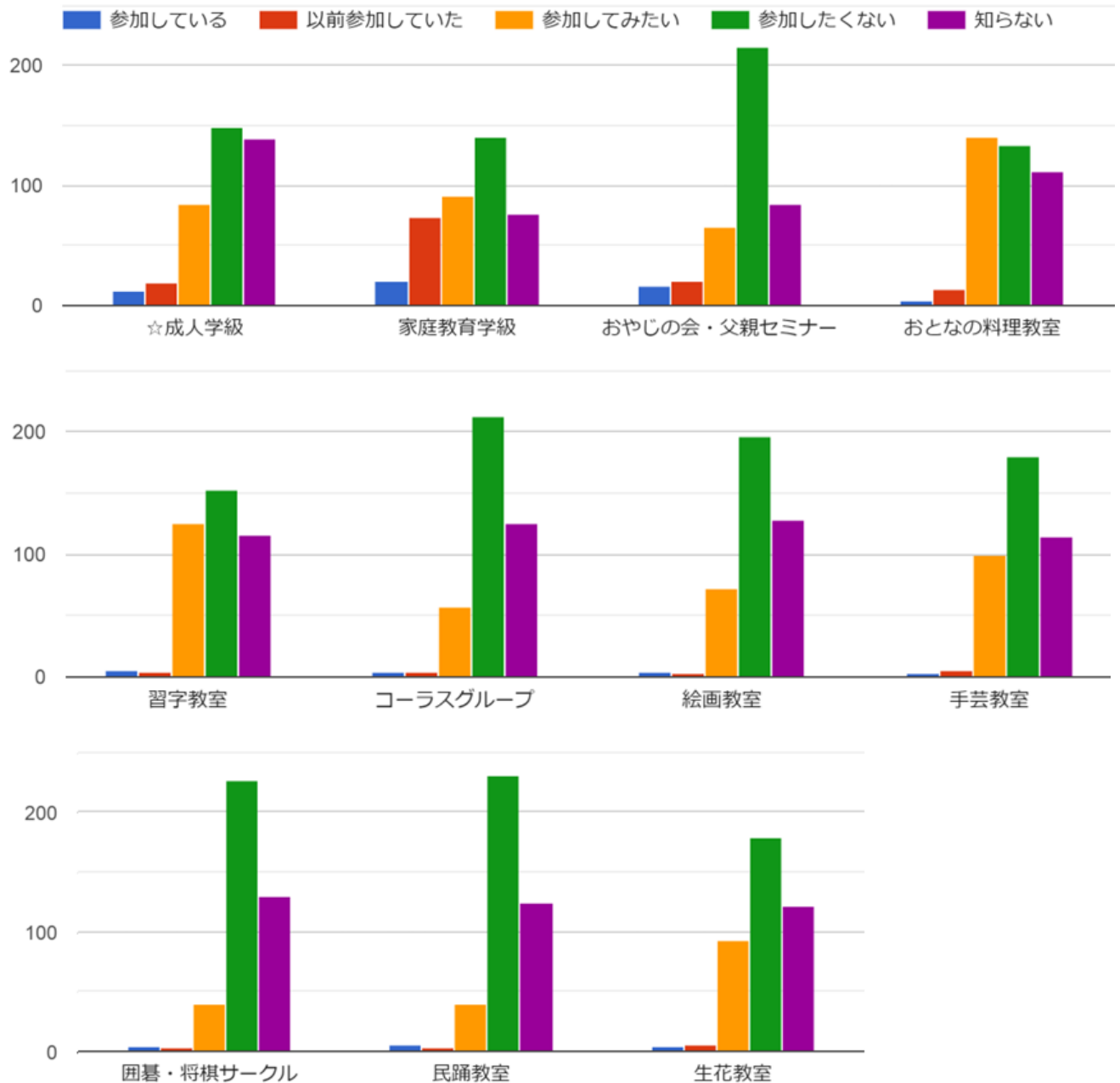
(2) 福祉に関すること



上記は、西伊敷の福祉に関することとして、「地域ボランティア等への参加支援」「子育て支援」「福祉に関する講習会」「相互扶助の仕組みづくり」「世代間交流」「身近な相談窓口の設置」「福祉に関する情報提供」「地域の人たちが気軽に集える場所」「高齢者が利用できるサービスの設置」の9点について、「大いに期待している」「期待している」「あまり期待していない」「全く期待していない」「よくわからない」の5つから回答してもらう選択肢として問いました。

高齢化が進んでいる地域性も含め、「高齢者が利用できるサービスの設置」への期待が大きいことが読み取れる。一方で、「相互扶助の仕組みづくり」や「世代間交流」については、「全く期待していない」「よくわからない」の割合がやや高くなっているのが特徴となりました。

(3) 社会活動や文化活動に関すること (☆印は西伊敷まちづくり協議会主催行事)



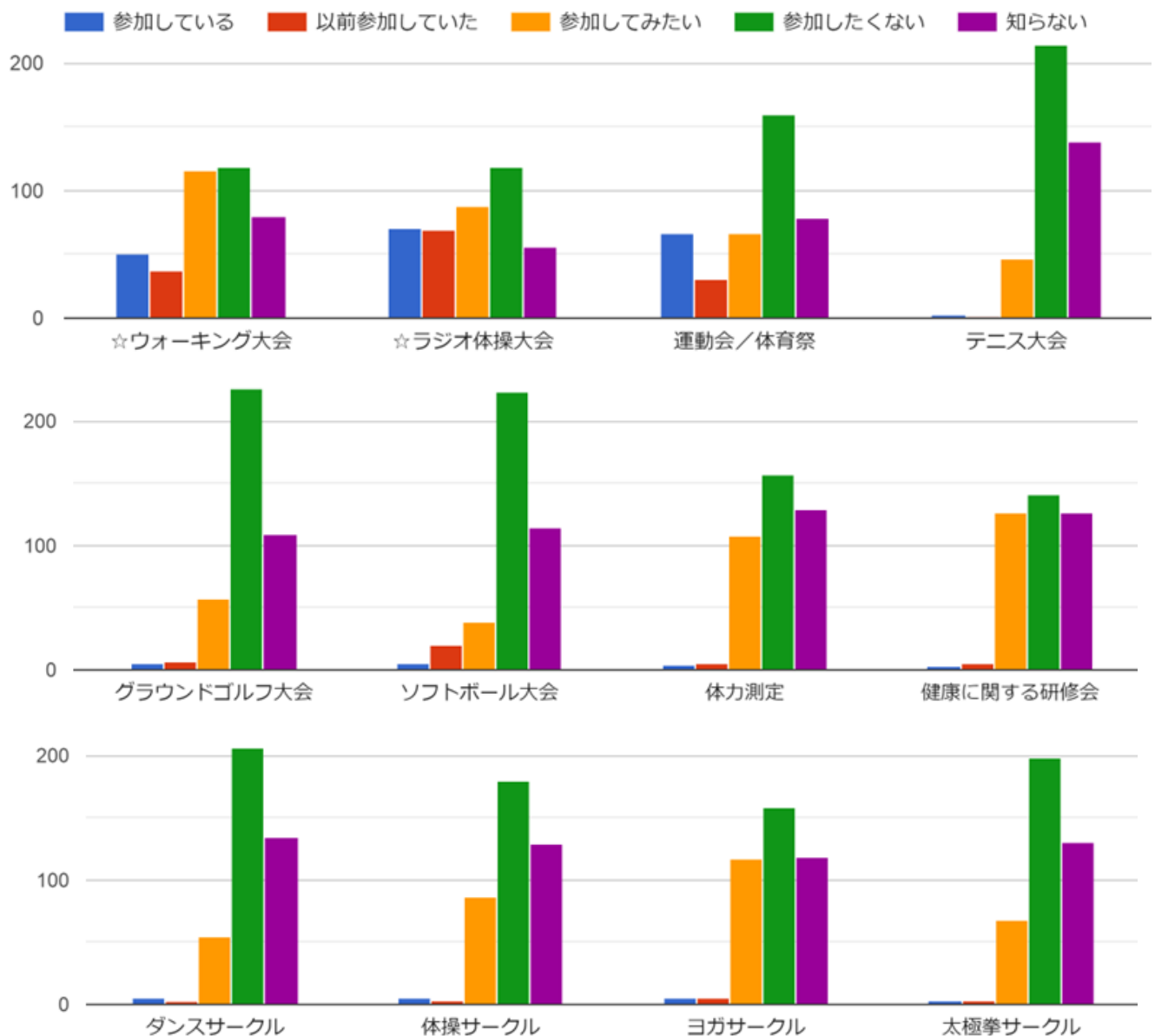
上記は、西伊敷で実施されている社会教育活動や文化活動について、「成人学級」「家庭教育学級」「おやじの会・父親セミナー」「おとなの料理教室」ほか全10点について、「参加している」「以前参加していた」「参加してみたい」「参加してみたくない」「わからない」の5つの回答から選択してもらう選択肢として問いました。なお、成人学級には☆印がしてありますが、これは「西伊敷まちづくり協議会」が主催している行事の一つです。

全体を通して、「参加したくない」と「知らない」という回答が多いのが特徴となりました。必要性のあるテーマの提示とそれぞれの行事予定を告知する必要があると思われます。

「家庭教育学級」と「おやじの会・父親セミナー」の参加率が高いのは、小学校・中学校の行事として数えられているのが特徴で、他方では、いったん卒業すると再び参加することは出来ないため、現役世代に楽しんでもらうのがカギと言えます。同時に、「家庭教育学級」は母親が、「おやじの会・父親セミナー」は父親の参加が多いため、今後のアンケートの設問としては再考の余地があります。

その他の行事についても参加を呼びかけるのが今後のカギであると考えられます。

(4) 健康やスポーツに関すること (☆印は西伊敷まちづくり協議会主催行事)

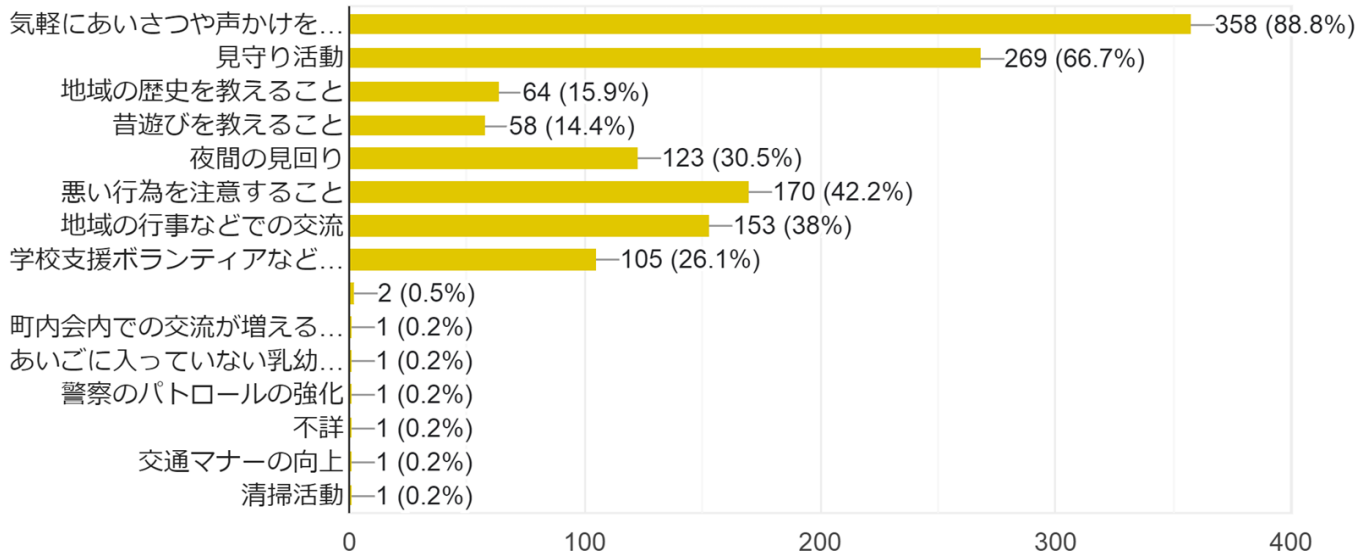


上記は、西伊敷で実施している健康やスポーツに関するイベントについて、「ウォーキング大会」「ラジオ体操大会」「グラウンドゴルフ大会」や「ソフトボール大会」などへの参加について、「参加している」「以前参加していた」「参加してみたい」「参加したくない」「知らない」の5つの選択肢から選択してもらう設問で実施しました。なお、「ウォーキング大会」と「ラジオ体操大会」には☆印がついていますが、これは西伊敷まちづくり協議会（健康づくり部会）が開催している行事の一つです。

「ウォーキング大会」・「ラジオ体操大会」・「運動会／体育祭」への参加率は非常に高いことがわかります。小学校・中学校の児童・生徒からの告知が功を奏している影響もあるだろうと推測されます。地域の方々があつまることのできる行事でもあるので、今後とも多くの参加を呼びかけていく必要があります。

他方、その他の行事については、「参加したくない」と「知らない」という回答を選択した人が多いことがわかります。行事によっては運営できていないものもあり、告知作業も不十分なこともあるのではないかと思います。

⑥ 西伊敷地区で理想的な風土を醸成するための活動 (回答数=403名)



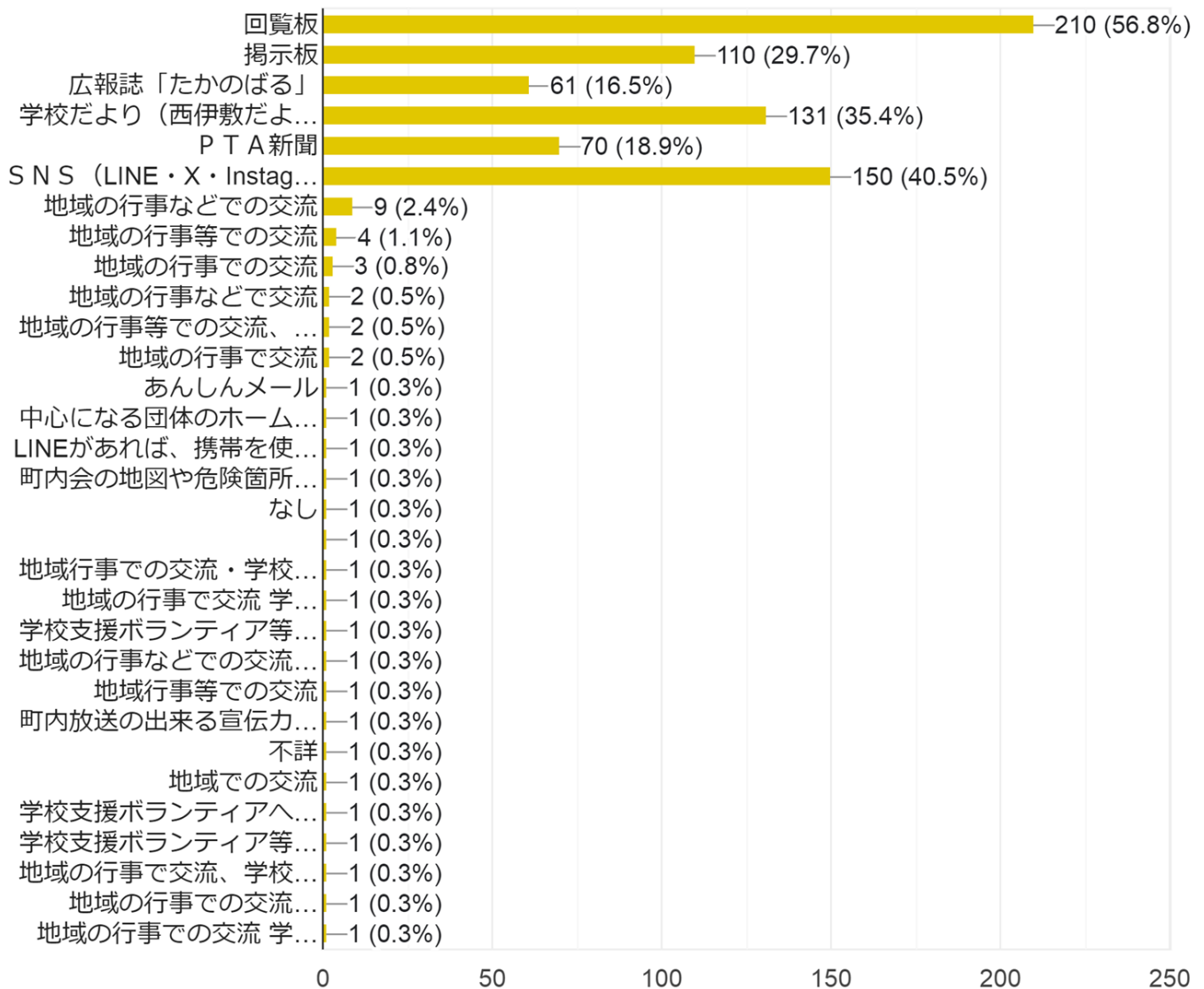
この設問では、西伊敷地区で理想的な風土を醸成するための活動としてあげられるものを、複数選択で選択してもらいました。なお、選択肢については

- ① 気軽にあいさつや声かけをすること ② 見守り活動 ③ 地域の歴史を教えること
 ④ 昔遊びを教えること ⑤ 夜間の見回り ⑥ 悪い行為を注意すること
 ⑦ 地域の行事などで交流 ⑧ 学校支援ボランティアなどへの積極的な参加

を選択肢として挙げ、その他の自由記述欄を設けました。

この設問では、①の回答が358名(88.8%)、②が269件(66.7%)と高い数字をたたき出しました。日常生活の中で簡単に取り組めるものを選んだことが多いと推測できます。このほかには、⑥が170件(42.2%)、⑦が153件(38.0%)、⑤が123件(30.5%)と高くなっていることが分かります。

⑦ 西伊敷地区の情報を共有する方法として充実してほしいもの (回答数=370名)



この設問では、西伊敷地区の情報共有の手段として充実させて欲しいものは何かを複数回答で問いました。選択肢としては、

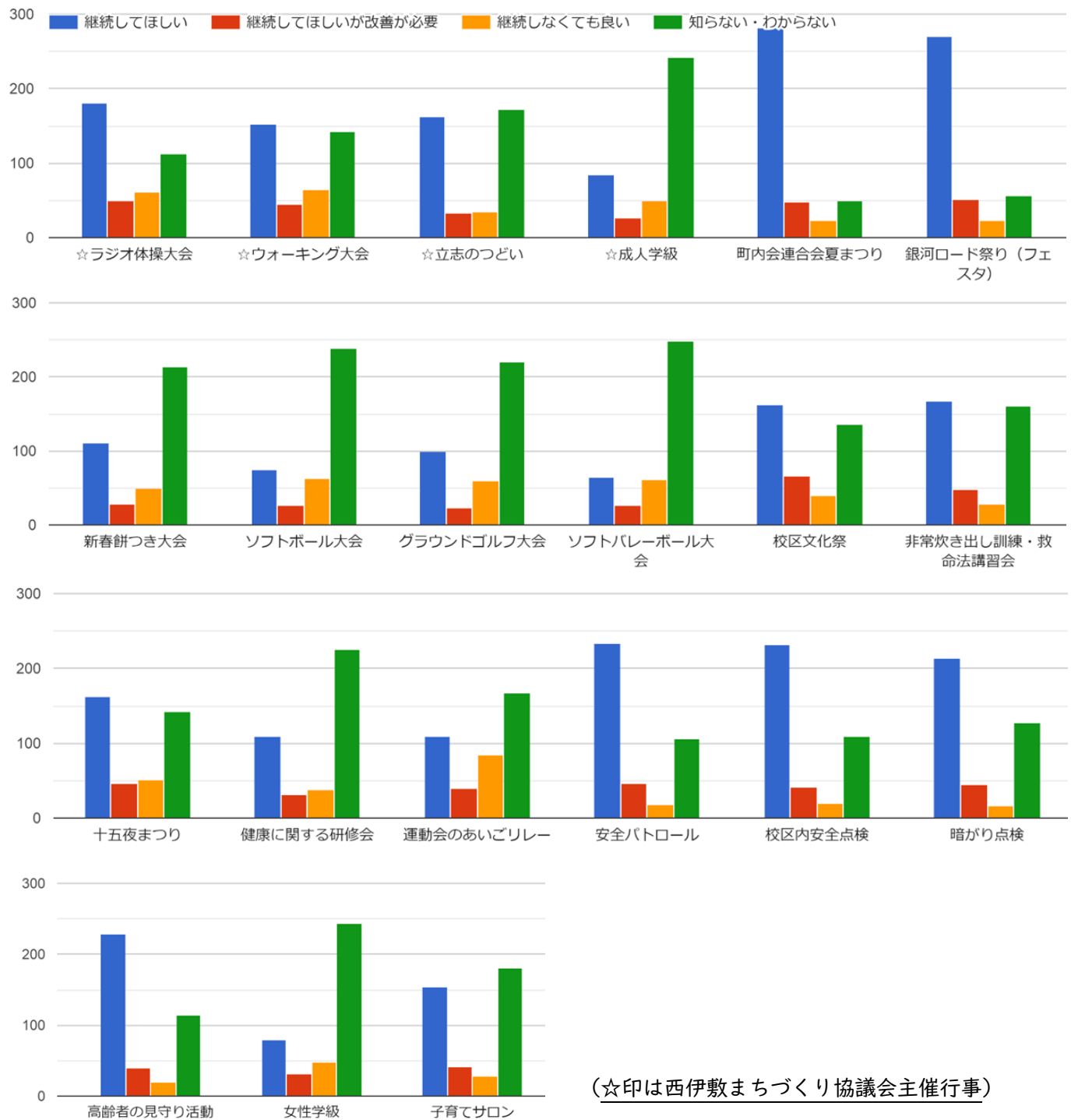
- ① 回覧板 ② 掲示板 ③ 広報誌「たかのぼる」 ④ 学校だより (西伊敷だより・緑風)
 ⑤ PTA新聞 ⑥ SNS (LINE・X・Instagram など)

を挙げ、それ以外の自由記述欄を設けました。

この設問では、①が210件 (56.8%) と非常に高くなっており、町内会を通した情報提供を期待していることが分かります。また、時代背景を考慮したのか、⑥のSNSが150件 (40.5%) と2番目に高い数値になっています。自由記述欄においても「中心となる組織のホームページからリンクを張る」というポータルサイトを作る提案も出されていました。特に、「携帯を使える人には回覧板より気楽に閲覧できるため、地域活動にもう少し関心をもてるし、回覧板を回すのもストレスに感じる人も多いので、楽になるのではと思う」という提言も書かれていました。

その他、自由記述欄には「町内放送ができる宣伝カーを走らせてほしい」という意見も見られました。

⑧ 西伊敷でのこれまでの行事・イベントについて （回答数=414名）



上記は、これまで西伊敷小学校校区内で実施されてきた各種行事やイベントについて、「継続してほしい」「継続してほしいが改善が必要」「継続しなくても良い」「知らない・わからない」の4つの選択肢からそれぞれ1つずつ選択してもらう形式で問いました。なお、「ラジオ体操大会」「ウォーキング大会」「立志のつどい」「成人学級」に☆印が施してあるが、これらは西伊敷まちづくり協議会が主催して行っている行事の一つです。

全体的に見て、「町内会連合会夏祭り」「銀河ロードまつり（銀河ロードフェスタ）」は「継続してほしい」という回答が多いことがわかります。これら2つの祭りは、伊敷中央公園を会場に実施しているもので、参加者も非常に多く、知名度が高いことも影響していると考えられます。

それ以外の行事については、「継続してほしい」と「知らない・わからない」の両極端に分かれている傾向にあります。知っている人と知らない人とのギャップが非常に大きいことがわかります。行事の精選と行事開催の際の告知について今後検討していく必要がありそうです。

これらの行事についての改善手段があるかについても問うたところ、以下の回答が得られました。(抜粋)

- 町内会連合会のお祭りは、今後も秋に開催してほしい
- イベントの内容や、目的の明確化と、地域住民への共有
- 知らないものが多いので、何らかの形で知らせる工夫が必要だと思う
- 日程を早く知りたい。調整し易くなる
- 参加しやすい行事、声かけなどで知ってもらうようにする。周りの方に「こんな行事があったよ」といっても、「知らなかった」という方が多い
- 行事、イベントなど、子供が小・中学生の頃は参加していたが、大きくなると、全くと言っていいほど何も参加しなくなったので、「高齢者になっても参加しやすい行事、イベントが何なのか」と考えてみるが……
- 夏祭りの出し物に高齢者対象の割合が多い
- 夏祭りの最後、会場全員で広がっておはら節でも踊るともっと盛り上がるかもしれない
- 校区文化祭に西伊敷小の子どもたちの参加が吹奏楽のみなので、もう少し子どもが参加しても良いのではないだろうか？
- 校区文化祭は出演される方々や団体が自分事として実行委員会形式でやる方向に向かうのが良いと思う
- 9月・10月に似たような行事がまとまっているので、行事のスマート化を図るべき
- 夏祭り等の補導活動は、警察、PTA等各団体で実施しているので、一本化できればと思う
- 早めに地区の年間行事を全世代に周知し、協力、参加を仰ぐ
- 町内会と銀河ロード祭りは同日に一緒に開催でいいかと思う
- 回覧板はほとんどの方が見ない。いろんな所にポスターを掲示しての広報が必要
- 高齢者が多い為、参加者の確保の検討が必要
- 高齢者の見守り活動について（登校時の立哨時間や場所の縮小が必要かと思う）

さらに、「現在西伊敷でやっていない行事・イベントで他によいものがないか」を問うたところ、以下のような回答が得られました（一部抜粋）。

- 花火大会・中国花火大会の再開
- 公園を利用しての地域の方々主催の定期的なフリーマーケット（マルシェ等）
- 校区町内会対抗運動会（年齢層に応じた種目選定して）
- 防災訓練、防災グッズについての講座、避難探検、お金の話、助産師によるお話会
- クリスマスイルミネーション
- 不要な物を交換し合う様な場があったら。財政的に厳しい方も無料で交換できれば助かるのではないかな？

⑨ 今後のまちづくりについて

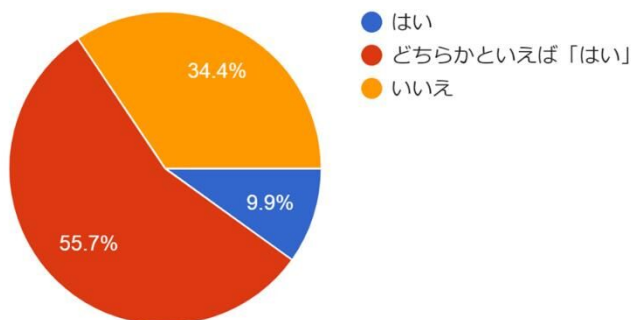
(1) 西伊敷をより魅力あるものにするためのまちづくり活動（回答数＝71件）

この設問では、上記のテーマについて自由記述方式で問いました。その中から一部抜粋して掲載します。
 なお、この項目で挙げられた回答内容については、西伊敷まちづくり協議会での検討、あるいは関係団体への情報提供を行う予定です。

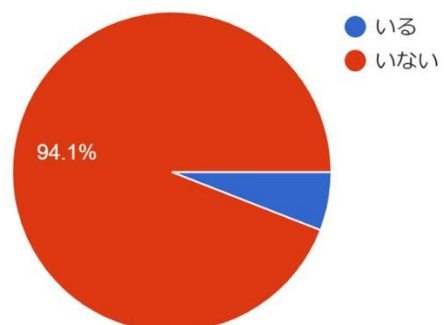
- 活動団体間の情報交換（そもそもどんな活動団体があるかを知らない住人も多いのでは？）
- 若年層世代の誘致
- 地域の方々が趣味・特技を発揮できる場所やイベントの実施
- 挨拶……大人，子供に関わらず，人にあったら挨拶（「おはよう」「こんにちは」等）をする
 歩道拡張による街並みのスリム化……街並みが美しいと人気の街となり，住民が増える傾向がある。
- ロコミだけで良さは広がっていくので，活動を増やさずに，（むしろ活動を減らして），一人一人が地域を大切にする気持ちを待てばそれだけでいいと思う
- 高齢の方が多いので，通学ボランティアなどにもっと協力してもらえる仕組みづくり
- 西伊敷周辺の「イベントごと」や「不審者情報」「野生動物目撃情報」等を配信してくれる配信専用公式LINEがあれば追加したい
- 気軽に参加できるコミュニティをつくる。持ち込んで食べたり飲んだりできる集会場所がほしい。
- 町内会のあいご活動への理解と協力
- 若い世代を巻き込む活動や子供達と一緒にできる活動が増えると移住に繋がる気がする
- 魅力ある行事で，様々な世代が交流できるようにする（夏祭りなど）
- 若い人達・子育て中の人達のための魅力ある行事の企画が必要
- 地域の清掃や防災訓練の実施（消火器の使い方等）
- 新しい人が近所に引っ越してこられたら，町内会への加入の声をかけてみる
- あいご会と敬老会の連携
- 元気な人しか参加できない集まりだけでなく，体力的に厳しい人でも参加できる集まりがあると良い

(2) 西伊敷をより魅力あるものにするためのまちづくり活動（回答数＝414件）

あなたはまちづくりのために
 「何かしたい」「役に立ちたい」と思いますか？



地域のために力を貸していただける方で、
 推薦できる方がいらっしゃいますか？



この設問では、「住民自体がまちづくりのために何か役に立ちたいと感じているか」と「地域のために力を貸していただける方がいるか」という2つの設問について選択式で問いました。

「自身がまちづくりのために何か役に立ちたい」と感じている人がおよそ65%いることがわかるものの、「地域のために力を貸してくれる方がいるか」という問いに対しては94%の回答者が「いない」と回答していることが分かります。

【図表】自由記入の内容を抜粋

内 容	西伊敷の良いところ	不安・問題点
閑静な住環境に関すること	・住民が温かい ・お年寄りの方が子供にやさしい ・地域の方々の目が行き届き、旗持ちなどしてくださっている	・伊敷団地に上がるまでの坂が暗くて、古いイメージがある ・街灯が少なく夜道が暗い箇所がある
自然環境に関すること	・高台にあり自然豊か ・自然が多く便利な街 ・水害や津波の心配が少ない ・地盤が固くて、他の地域よりは地震の揺れが少ないと聞いている	
少子高齢化に関すること	・登下校時の際、色々な方が優しく声をかけていただいている ・朝の登校時、交通安全のボランティアの方が立哨しているので安全に登校できる	・車の運転が危険 ・横断歩道以外を乱横断し、危険（特にタイヨー周辺・セイムス周辺）
施設の利便性（商業・金融・医療）に関すること	・コンビニ・スーパー等がある ・生活環境（病院・銀行・商店・バスなど）がやや便利である ・団地内にスーパーや日常生活の必要品を賄う店や金融機関があり便利 ・高速道路のアクセスがいい	・施設の不足（商業施設、病院、児童館 等） ・未就学の6歳くらいまでの子ども用品を扱う店がない ・本屋など受験参考書を買える施設がない ・交通の便が悪く、お店が少ない ・小児科が充実していると助かる
防犯対策・交番に関すること	・治安がよく静かであることや、祭りなどの参加率が高い	・こどもへの声かけなどがあり、治安に関して不安がある ・以前は交番があったが、今はないため、パトロールや緊急時の駆けつけ体制など不安がある
町内会・地域活動に関すること	・緑豊かで町内会が協力的 ・町内会、青年部の活動がなされている ・町内会がしっかりしていて、見守り活動などコミュニケーションがあると思う ・町内会組織が機能しているため、住民の交流と融和、治安の安心安全に大きく貢献している	・町全体が高齢化しているので町内会活動を簡素化してほしい ・町内会のあり方をもっと気楽に。現役で実生活も忙しい中、町内会の活動が辛く思えることがある。 ・昔ながらの町内会は不要。町内会費も集金ではなく、PayPayとかで送金できたらいいのではないかな
近所づきあいやコミュニティに関すること	・近所が顔見知りで声掛けしやすい ・静かでご近所の方々が親切である ・小ぢんまりとした団地なので顔見知りが多い ・近隣住民とも深すぎず浅すぎずの程良い関係が築けている	・『まちづくり協議会』の活動が見えない ・アナログな印象が強く、長年住み続ける方や高齢者ファーストな地域

内 容	西伊敷の良いところ	不安・問題点
交通安全に関すること		・一部道路が通り抜け道路になっている。 ・歩行者・運転者どちらもマナーが悪い ・大型車の交通量が多い ・タイヨーの横の路上駐車が出来ないようにしてほしい
交通利便に関すること	・買い物する場所もたくさんあり，市内の中心部に行くまでにあまり遠くない場所 ・交通の便が良い ・高速道路が近い	・市営バスの本数が減り，乗車率が上昇したこと
空き家に関すること		・空き家が多く，交番が無いと物騒に感じる事がある
防災対策に関すること		・電柱が多い ・災害が起きた場合，3号線へ下りる道路が寸断されたらどうするか？
マナー・モラルに関すること	・大人が通りがかりの子供に挨拶をしてくれる，返してくれるなど保護者として安心出来る ・地域の方々が協力して子供のため地域のために動いてくださる	・朝夕出会っても挨拶が悪い ・担当民生委員を知らない。
そ の 他	・子どもたちが遊ぶ環境が整っている ・学年関係なく子供たちが仲良い ・保護者の方たちがみんな温かい ・公園や塾，そろばんやピアノ教室などメジャーな習い事も西伊敷内で通わせることができている	・坂が多い為，徒歩での移動が大変 ・西伊敷3丁目にあるコンビニエンスストアを出入りする車との事故が不安 ・地域分けやハザードマップ的なものが，どこに行けばもらえるのかわからない

2 プラン策定委員

役 職 等	氏 名
1 西伊敷まちづくり協議会 会長	加藤 俊文
2 西伊敷まちづくり協議会 副会長	末吉 正承
3 西伊敷まちづくり協議会 副会長	藤崎 剛
4 西伊敷まちづくり協議会 副会長	梶 忠美
5 西伊敷まちづくり協議会 総務広報部会長	宮下 幸男
6 西伊敷まちづくり協議会 安心安全部会長	福德 清和
7 西伊敷まちづくり協議会 福祉部会長	村山 雅子
8 西伊敷まちづくり協議会 社会教育部会長	瀧川 憲洋
9 西伊敷まちづくり協議会 健康づくり部長	中川 光弘
10 西伊敷まちづくり協議会 青少年育成部長	梶 和嗣
11 西伊敷まちづくり協議会 会計	永安 智代
12 西伊敷まちづくり協議会 事務局職員	大石 隆志

3 プラン策定経過

月	主な活動内容	備 考
令和4 9月	○まちづくり役員会（兼 プラン策定委員会） ○各部会の開催及び現状・課題把握等	・第2期プラン策定計画について ・各部会の計画の確認・各構成団体との連携
11月 12月	○まちづくり役員会（兼 プラン策定委員会） ○各部会の開催（現状・課題）	・地域の現状・課題のまとめ ・各部会の計画の確認・実施
令和5 1月	○まちづくり役員会 ○各部会の開催（まとめ）	・プラン関係の話し合い ・各部会によるまとめ（事業内容等）
3月	○まちづくり役員会 ○総会準備等について ○各部会の開催	・事業のまとめと次年度の事業等の検討
4月	○まちづくり臨時役員会 ○総会準備等	・総会準備（事業報告、計画、予算、プラン等）
5月 6月	○「定期総会」（令和5年5月14日） ○まちづくり役員会（プラン策定関係）	・事業報告、決算報告、事業計画 予算 ・まちづくりプラン策定計画等
7月	○まちづくり役員会 ○アンケート検討	・各部会の事業（活動）を検討、実施
9月	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○アンケートの検討	・まちづくりプラン策定計画の作成・検討 ・アンケート集約・分析
11月	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○アンケートの検討 ○各部会の開催	・課題解決や目指す地域像実現に向けて、各部会の事業を選定・検討 ・プラン作成等
12月	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○活動の体系表の作成（前年度を基に）	・アンケート分析・検討 ・まちづくりプランの検討
令和6 1月	○まちづくり役員会 及び プラン策定委員会 ○アンケート分析・検討 ○まちづくりプランの作成	・部会、策定委員会による検討・確認等 ・アンケート分析検討、プランの検討
2月	○次年度活動開始に向けた準備 ○プラン策定委員会 ○アンケートの分析等	・役員会等による検討・確認等 ・アンケート、まちづくりプランの検討
3月	○次年度総会資料の検討・作成等 ○まちづくり役員会（兼 プラン策定委員会）	・総会資料への位置づけ ・まちづくりプランの検討
4月	○まちづくり臨時役員会（兼プラン策定委員会） ○総会資料の作成・完成	・総会資料の作成・完成 ・「第2期まちづくりプラン」の完成
5月	○「定期総会」（令和6年5月12日） ○まちづくりプランに基づく活動開始	・まちづくりプランの確認 ・まちづくりプランの活動開始

4 行事等実施計画

(校区内安全点検、立志のつどい、校区文化祭、ウォーキング大会 例)

事業名	「校区内安全点検(危険箇所点検)」		プラン番号 安心安全部会 1
ねらい	西伊敷校区内の危険と思われる個所を点検し、対策を検討する。事故・災害の未然防止に役立てる。安心安全な暮らしの一助とする。		
担当部会等	安心安全部会		
協力団体	地域安心安全ネットワーク会議 小学校スクールゾーン委員会 小学校教職員		
実施時期	7月中旬 午後	場所	校区内全域
参加対象者	協力団体と同じ(安心安全部会委員及び協力団体)		
主な事業内容	- 前年度の点検結果に基づく危険箇所の点検 - 点検結果確認と対策検討 - 必要に応じて、「あぶない入るな!」「赤い旗」等の交換をし、危険箇所等に近づかないようにする。(安全の確保) ※ 隔年で同様の「校区内暗がり点検」も夜間に実施する。 内容や方法は安全点検と同様に実施する。		
事前準備	- 部会で事業内容、協力団体確認 - 役割分担 - 活動依頼文書発送(部会委員、関係者、関係団体)		
主な役割分担	部会の協議結果のとおり		
必要用具等	- 危険箇所を知らせる看板、赤い旗、ロープ等 - 必要に応じて、軽トラック等		
必要経費	- 危険箇所の看板(あぶない入るな等)、赤い旗を購入する。 - 当初予算の範囲内で、必要な用具等を購入する。 - 必要経費 約 30,000 円程度		
備考	毎年、計画的に、継続して実施する。		

事業名	「立志のつどい」（中学2年生対象）		プラン番号 青少年育成部会 1・2
ねらい	- 心身ともに成長し、次代を担う中学2年生を地域で祝福する。 - 言動に責任を持ち、将来に向けて力強く行動していく決意や夢を確かめる機会とする。 - 記念の文集「立志」を作成し、振り返りや今後の目標実践の糧とする		
担当部会等	青少年育成部会		
協力団体	小学校 中学校 中学校PTA 校区あいご会		
実施時期	1月下旬（第3日曜日） 午前	場所	西伊敷小学校体育館
参加対象者	西伊敷小学校卒業の中学2年生		
主な事業内容	・お祝いのことば（まち協会長） ・励ましのことば（小・中学校校長） ・自分の夢・希望発表（主に代表） ・シンポジウム（小・中学校の社会人の先輩が講師（シンポジスト） ・ミニ同窓会 ※ 会場に中学二年生の「将来の夢や希望」の色紙を掲示・紹介する。		
事前準備	・準備部会開催（青少年育成部会 及び 中学生実行委員会） ・先輩講師（シンポジスト・コーディネーター）へ依頼文書発送 ・案内、依頼文書発送（中学2年生、関係者、関係団体） ・記念品（文集「立志」）作成 ・夢・希望の色紙作成（中学2年生） ・会場設営（青少年部会委員、まち協役員、中学生実行委員 他）		
主な役割分担	・部会の協議結果のとおり ・当日の司会・進行は、中学2年生が行う。（主に中学生実行委員）		
必要用具等	・フロアシート ・机、椅子、白布、シンポジウム用の台、その他 ・放送器具 その他の関連用具（事前に準備）		
必要経費	・約 90,000 円程度（「記念品は文集「立志」、作成印刷、講師謝金）		
備考			

事業名	「校区文化祭」		プラン番号 社会教育部会 1
ねらい	西伊敷校区住民が日常行っている文化的活動の成果を相互に発表・鑑賞し合うことによって、生活をより一層豊かにするとともに、親睦の輪を広げ、住みよい校区づくりに貢献することを目的とする。		
担当部会等	社会教育部会		
協力団体	西伊敷小学校、緑丘中学校、小・中PTA、幼稚園・保育園、校区スポーツ少年団、児童クラブ、校区あいご会、各種同好会・団体、町内会連合会、小学校家庭教育学級、伊敷団地有志等 西伊敷福祉館利用の自主学習グループ、その他		
実施時期	11月 第2日曜日 午前	場所	西伊敷小学校体育館
参加対象者	地域住民等（大人・高齢者・子ども）		
主な活動内容	・ 体育館に一堂に会して、「舞台発表」（小学校金管バンド、民謡、太極拳、大正琴、合唱、フラダンス、その他）及び「展示発表」（生け花、書道、絵画、手作り作品、写真、盆栽、水墨画、陶芸、その他）を発表する。 ・ 発表時間は7分以内で演技する。 ・ プログラムに添って実施する。 ※ 小学校PTAバザーが実施される場合は、同時間帯に合同で実施する場合もある。（年度によって違ってくる。）		
事前準備	・ 社会教育部会を実施する。（主管部会） ・ 合同部会（出演団体・出品団体。社会教育部会）を実施する。 ・ 詳細について、共同で協議、実行していく。 ・ 前日に準備会を行う。（上記の団体等が参加。）		
主な役割分担	実行委員会の協議結果のとおり		
必要用具等	・ フロアシート ・ 机、椅子、白布、その他 ・ 放送器具 その他の関連用具（事前に準備）		
必要経費	・ 約 70,000 円程度（消耗品費、必要用具等）		
備考			

事業名	ウォーキング大会等（あいご会との連携）		プラン番号 健康づくり部会 1
ねらい	・ 校区住民の健康増進と親睦を深める。 ・ ウォーキングを通して、地域歩きをすることで、地域を知る機会とする。また、あいご会と連携してゲーム等実施し、子どもと大人のふれあいを深める。		
担当部会等	健康づくり部会		
協力団体	小学校 中学校 中学校PTA 校区あいご会		
実施時期	主に10月 第3日曜日 午前	場所	伊敷団地中央公園 及び 西伊敷小学校グラウンド
参加対象者	子どもから大人、高齢者まで地域住民		
主な活動内容	・ 「朝のラジオ体操会」を実施する。（準備運動も兼ねる。） ・ 伊敷団地中央公園から西伊敷小学校までの往復をウォーキングする。（行き先は、変更になる場合もある） ・ 小学校では、あいご会の主導により、「ゲーム大会」等を行う。（大人も子どもも実施する。） ・ 今後、あいご会との連携を深める。 ・ ゲーム終了後、中央公園へ帰る。参加賞等の配布		
事前準備	・ 健康づくり部会の開催（事前に2回程度） ・ 案内文書発送（小学校・中学校・町内会回覧等） ・ 案内、依頼文書発送（関係者、関係団体） ・ 記念品を準備する。（例 ハンドタオル、お茶など） ・ 会場設営、ウォーキングコースの点検・確認 ・ のぼり旗、横断旗等の準備		
主な役割分担	健康づくり部会の協議結果のとおり		
必要用具等	・ 机、イス ・ テント（必要に応じて） ・ 放送器具、音楽CD等		
必要経費	・ 約 70,000 円程度（参加賞代、消耗品費、その他）		
備考			

